

科目名	ExpressionA(1) VT(1)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 潤豊 吉田華奈 田原佑一朗 小林香央里 城山恵利 櫻柳孝
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICが主催するJASRA認定メンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答) 目 標の確認、発声メソッドの説明、課題曲提示	発声練習及び課題曲練習
2	5月26日	講義・演習	外化、姿勢呼吸、低音、イーストレッチのレクチャー 歌 唱指導	発声練習及び課題曲練習
3	6月2日	講義・演習	外化、発声指導、共鳴レクチャー、歌唱指導	発声練習及び課題曲練習
4	6月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	6月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月30日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	7月7日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	7月14日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	7月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月28日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	8月4日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月18日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題 チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	8月25日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月1日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			発声練習及び課題曲練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(1) Gt Melodic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	Brainsout, イガパンBBなどでの活動の他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。					
授業の学習 内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践。					
到達目標	メジャースケール、マイナースケール、ペンタトニック(メジャー／マイナー)の構造、ポジションを覚え、複数のキーで、一定のテンポで弾けるようにする。					
評価方法及び基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	トレーニングメニューを作成する。 パターン練習実践1。	メジャースケールを予習。
2	6月5日	講義・演習	ピッキング3種類を覚える。 パターン練習実践2。	自分のトレーニングメニューを作成。
3	6月12日	講義・演習	メジャースケールパターン2を覚える。 上行下行パターンを弾く。	オルタネイト・ピッキングで練習する時間を作る。
4	6月19日	講義・演習	メジャースケールパターン3を覚える。 3連パターンを弾く。	スケールの復習、 練習メニューの見直し。
5	6月26日	講義・演習	メジャースケールパターン4を覚える。 4連パターンを弾く。	スケールの復習。 指板上のポジション確認。
6	7月3日	講義・演習	メジャースケールパターン5を覚える。 3度パターンの理解と練習を行う。	スケールの復習。 指板上のポジション確認。
7	7月10日	講義・演習	メジャースケールパターン6を覚える。 4度パターンの理解と上行下行練習を行う。	スケールの復習。 指板上のポジション確認。
8	7月31日	講義・演習	メジャースケールパターン7を覚える。 1-2-4パターンの理解と上下行練習を行う。	スケールの復習。 指板上のポジション確認。
9	8月21日	講義・演習	ペンタトニック・パターン1を覚える。 3連での上下行パターンを弾く。	ペンタトニックのポジション確認。
10	8月28日	講義・演習	ペンタトニック・パターン2を覚える。 4連での上下行パターンを弾く。	ペンタトニックのポジション確認。
11	9月4日	講義・演習	ペンタトニック・パターン3を覚える。 HO上行、PO下行フレーズを弾く。	ペンタトニックのポジション確認。
12	9月11日	講義・演習	ペンタトニック・パターン4を覚える。 チョーキングを含むフレーズを弾く。	ペンタトニックのポジション確認。
13	9月18日	講義・演習	ペンタトニック・パターン5を覚える。 12小節ブルース、バンプでフレーズを弾く。	ペンタトニックのポジション確認。
14	9月25日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	前期の振り返り。
15	10月2日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	前期で学んだ授業内容を振り返り、予習と復習を行う。
準備学習 時間外学習		授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)		
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Expression A(1) Bass Line Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようにするための講義実習を行う。						
到達目標	1、指板の構造とフレット上の音名を全て把握出来るようになること。 2、メジャースケールの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 3、コードの概念を理解し、構成音を把握しながら演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	右手左手のフォームを確認し、スムーズな演奏法を習得する。	チャプター内のエクササイズの復習
2	5月29日	講義・演習	譜面上の主な記号、指板上の音名を理解できる。	チャプター内のエクササイズの復習
3	6月5日	講義・演習	コードネームについて理解し、そのルートを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
4	6月12日	講義・演習	度数や音程について、メジャースケールの構造について理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
5	6月19日	講義・演習	#keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
6	6月26日	講義・演習	b keyのメジャースケールとその指板上の位置を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
7	7月3日	講義・演習	ファーストポジションの重要性、2オクターブの音域の重要性を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
8	7月10日	講義・演習	全てのキーのメジャーペンタトニックスケールを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
9	7月17日	講義・演習	メジャーペンタトニックスケールの5つのポジションを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
10	7月31日	講義・演習	トライアドの成り立ちとメジャーキーのダイアトニックトライアドを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
11	8月7日	講義・演習	7thコードの成り立ちとメジャーキーのダイアトニック7thコードを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
12	8月21日	講義・演習	ナチュラルマイナースケールの構造を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
13	8月28日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習		教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				

科目名	Expression A(1) Key Play Tech(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋 剛
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1990年からミュージシャンの仕事をする。2004年からTSMにてシンセサイザーの指導を行う。						
授業の学習 内容	スケール等の基礎練習。シンセサイザーの基本と音作りの流れを解説・実習する。同時に、理論の導入も行う。						
到達目標	練習の場ではなく、レコーディングやライブ本番で使える技能を身につける。また、腱鞘炎にならない弾き方を理解する。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	個々の技量確認。課題曲1を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
2	5月25日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
3	6月1日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
4	6月8日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
5	6月15日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
6	6月22日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
7	6月29日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
8	7月6日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
9	7月13日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
10	7月20日	講義・演習	課題曲3の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
11	7月27日	講義・演習	課題曲3の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
12	8月3日	講義・演習	前期課題曲を使つての実技試験。	前期内容の復習。
13	8月17日	講義・演習	前期まとめ。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
14	8月24日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
15	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
準備学習 時間外学習		課題曲の分析を事前に行い、キーボード練習をする。		
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(2) VT(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 潤豊 吉田華奈 田原佑一朗 小林香央里 城山恵利 櫻畑孝
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICが主催するJASRA認定メンバーとして様々なコンサート、イベント、Recに参加。多方面で活躍中。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月13日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月20日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	11月10日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月17日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月24日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	12月1日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	12月8日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	12月15日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック (目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	12月22日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、冬休みの課題 チェック	発声練習及び課題曲練習
11	1月12日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	1月19日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	1月26日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、 発声チェック、発表会の曲チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	2月9日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月16日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			発声練習及び課題曲練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(2) Gt Melodic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガバンBBなどでの活動の他、アーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	ソロ／メロディの演奏に必要な各指のトレーニングを中心にスケール／アルペジオ・エクササイズなどを実践						
到達目標	モードスケールの構造を理解し、各スケールのポジションを覚え、一定のテンポで弾けるようにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	楽曲の予習・復習
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	楽曲の予習・復習
3	10月23日	講義・演習	アイオニアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	maj7バンプ進行で練習
4	11月6日	講義・演習	ドリアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
5	11月13日	講義・演習	フリジアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
6	11月20日	講義・演習	リディアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	maj7#11バンプ進行で練習
7	11月27日	講義・演習	ミクソリディアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	dom7バンプ進行で練習
8	12月4日	講義・演習	エオリアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7バンプ進行で練習
9	12月11日	講義・演習	ロクリアン構造を理解し、 ポジションを覚える。	m7b5バンプ進行で練習
10	12月18日	講義・演習	maj7/minor7/m7b5/dom7の 4種類のアルペジオを弾く	ポジション固定で アルペジオの切り替えを練習
11	1月8日	講義・演習	ディミニッシュスケールの構造を理解し、 ポジションを覚える。	dim7バンプ進行で練習
12	1月15日	講義・演習	ホールトーンスケールの構造を理解し、 ポジションを覚える。	II7b5バンプ進行で練習
13	1月22日	講義・演習	ハーモニックマイナー 構造を理解しポジションを覚える。	minor-major7バンプ進行で練習
14	1月29日	講義・演習	メロディックマイナーの 構造を理解しポジションを覚える。	minor-major7バンプ進行で練習
15	2月12日	講義・演習	オルタードスケールの構造を理解し、 ポジションを覚える。	dom7b9, dom7#9バンプ進行で練習
準備学習 時間外学習		授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)		
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Expression A(2) Bass Line Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	将来的に豊かで独創的なベースラインを生み出せるように、コードやスケールなどの音楽理論を確実に耳と指板で理解し演奏できるようにするための講義実習を行う。						
到達目標	1、指板の構造とフレット上の音名を全て把握出来るようになること。 2、メジャースケールの構造を理解し、全てのキーで演奏出来るようになること。 3、コードの概念を理解し、構成音を把握しながら演奏出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習。
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習。
3	11月6日	講義・演習	マイナーキーのダイアトニックコードについて理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	11月13日	講義・演習	ブルーノートの構造を理解し、そのフレージングを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	11月20日	講義・演習	様々なブルースのコード進行を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	11月27日	講義・演習	これまでの総復習のエクササイズを行い、理解を定着させる。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	12月4日	講義・演習	メジャーキーのコードスケールを理解し、全てのキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
8	12月11日	講義・演習	メジャーキーのコード進行に対して、アルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	12月18日	講義・演習	分数コードの成り立ちを理解し、その機能を把握し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	1月8日	講義・演習	ベースラインの成り立ちとアプローチノートについて理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	1月15日	講義・演習	クロマチックアプローチとその分析について理解し、実践できる。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	1月22日	講義・演習	マイナーキーのコードスケールを理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	1月29日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
14	2月12日	講義・演習	マイナーキーのコード進行にアルペジオとスケールを設定し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
15	2月19日	講義・演習	後期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習。
準備学習 時間外学習		教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。		
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				

科目名	Expression A(2) Key Play Tech(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	土屋 剛
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1990年からミュージシャンの仕事をする。2004年からTSMにてシンセサイザーの指導を行う。						
授業の学習 内容	様々な音色を使い、楽曲に彩りを持たせるための手法を解説・実習する。						
到達目標	作編曲につながる技能を習得する。2年次へ向けて難易度を上げた楽曲に対応できる様になる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
2	10月12日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
3	10月19日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
4	11月9日	講義・演習	課題曲4の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
5	11月16日	講義・演習	課題曲4の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
6	11月23日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
7	11月30日	講義・演習	課題曲5の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
8	12月7日	講義・演習	課題曲5の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
9	12月14日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
10	12月21日	講義・演習	課題曲6の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
11	1月18日	講義・演習	課題曲6の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
12	1月25日	講義・演習	後期課題曲を使つての実技試験。	後期内容の復習。
13	2月1日	講義・演習	課題曲7を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
14	2月8日	講義・演習	課題曲7の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
15	2月15日	講義・演習	後期まとめ。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
準備学習 時間外学習			課題曲の分析を事前に行い、キーボード練習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression B(1) Vocal Reading(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 三浦伶美 城山恵利
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとし様々なレコーディング、イベント等に出演。					
授業の学習 内容	よりシンガーに特化したリズムトレーニング、メロディー歌唱、聴音を行う。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいリズムとメロディーを理解し歌うことが出来る。 ・いくつかのスケールを歌うことが出来る。 ・簡単なリズムとメロディーを聴きとり譜面に起こす事が出来る。 ・簡単なコードの聴き分けが出来る。 ・アカペラでアンサンブルすることが出来る。 					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	授業の説明、自己紹介。音符、休符の長さの説明。簡単なリズムとメロディーを歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
2	5月25日	講義・演習	リズム→全音符、2分、4分(休符も同様)で正しく歌う。メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
3	6月1日	講義・演習	リズム→8分を歌う。メロディー歌唱→4分音符のメロディーC～Fまでを歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
4	6月8日	講義・演習	リズム→16分を歌う。リズムとメロディーを聴き取り。メロディー歌唱→4音分のメロディーC～Gまでを歌う。	ワークシートを用いて予習・復習
5	6月15日	講義・演習	リズム→4/2拍子を学ぶ。16分を歌う。簡単なリズムとメロディーを聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
6	6月22日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーを聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
7	6月29日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
8	7月6日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
9	7月13日	講義・演習	リズム→付点や、8分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
10	7月20日	講義・演習	リズム→タイや、16分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
11	7月27日	講義・演習	リズム→タイや、16分休符を入れたリズムを歌う。簡単なリズムとメロディーの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
12	8月3日	講義・演習	前期テスト範囲発表。前期の総復習。	ワークシートを用いて予習・復習
13	8月17日	講義・演習	前期テスト範囲の復習。アカペラアンサンブルパート決め。	ワークシートを用いて予習・復習
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いて予習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Ear Training1 Workbook				

科目名	Expression B(1) Gt Harmonic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSM(前身のTCA含む)での実務歴25年。Harmonic Conceptの担当歴10年。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代を生きる全ギタリストの必須スキルのひとつです。 ・本授業では、その土台を形成するための基本的なトライアド・フォームの習得と、それをを用いた実践的なエクササイズを並行させ、基礎的なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていきます。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・CAGEDシステムを用いてトライアド・フォームを習得する ・ギタリストの目線でコード・ポインティングを体系的に学ぶ ・コード・フォーム(ポインティング)を自分で組み立てられることを目指す 						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	CAGEDシステムを用いた基本フォームの習得 開放ポジションの基本フォームを学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
2	5月25日	講義・演習	E型とA型のフォーム移動を学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
3	6月1日	講義・演習	C型とG型のフォーム移動を学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
4	6月8日	講義・演習	D型のフォーム移動を学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
5	6月15日	講義・演習	各フォームの構成音を理解する	各フォームを定着させるための予習と復習
6	6月22日	講義・演習	各フォームの構成音を理解する	各フォームを定着させるための予習と復習
7	6月29日	講義・演習	スモール・コードの考察と実践	各フォームを定着させるための予習と復習
8	7月6日	講義・演習	分数コードを含むコード展開を学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
9	7月13日	講義・演習	トライアドの変化型=sus4を学ぶ	各フォームを定着させるための予習と復習
10	7月20日	講義・演習	トライアドの変化型=dimを学ぶ	各フォームを定着させるための予習と復習
11	7月27日	講義・演習	トライアドの変化型=augを学ぶ	各フォームを定着させるための予習と復習
12	8月3日	講義・演習	ダイアトニック進行への実践アプローチ	各フォームを定着させるための予習と復習
13	8月17日	講義・演習	試験週	前期で学んだ全コード・フォームの復習
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習		リズム感&タイム感の修練、グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ		
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.1教科書、補足教材適宜				

科目名	Expression B(1) Dr Groove Making(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ドラムテクニック系のクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している。						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーブの抽出とアナライズをテーマとする演習を行う。 テキストに沿った各種トレーニングと並行して、アンサンブルスタンス、パルスイメージ、サウンドスケープ、リズムトレーニング等の内容も積み重ねていく多角的な演習内容になる。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、 各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に於いて、 タイム感の重要性を理解しグルーブに対する「気付き」が生まれる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	課題曲1を通して、アンサンブルの基礎知識・技術を学ぶ 譜面や初見演奏の対策を身に着ける	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
2	5月25日	講義・演習	楽器構造(ドラムセット)と特有な記譜法の理解。 8ビートとその歴史的背景を知る	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
3	6月1日	講義・演習	8ビートにおけるキックパリエーションの実践。 スネアバックビートに関する理解。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
4	6月8日	講義・演習	8ビートにおける4Wayトレーニングの実践。 メトロノームを使用した練習の紹介。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
5	6月15日	講義・演習	ハイハットワークの実践。 ドラムの役割(アンサンブルスタンス)を理解する。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~4)
6	6月22日	講義・演習	Aブロックフォーム(片手16)での16ビートの実践。 ゴーストモーションに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
7	6月29日	講義・演習	セットオーケストレーション:移動モーションの理解と実践。 フィルインに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~4)
8	7月6日	講義・演習	Bブロックフォーム(両手16)での16ビートの実践。 リード感覚に関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~4)
9	7月13日	講義・演習	Bブロックフォームでのグルーブメイクのチェック; パルスイメージの理解と実践。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~7)
10	7月20日	講義・演習	Cブロックフォーム(ミックス)での16ビートの実践。 ゴーストノートに関する考察。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~4)
11	7月27日	講義・演習	Cブロックフォームでのグルーブメイク; マイナスイメージを使用したトレーニングの実施	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~5)
12	8月3日	講義・演習	シャッフルビートの習得。 リズム構造の理解とフィールの実践。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~4)
13	8月17日	講義・演習	3連符に包括されたシャッフルフィールの実践。 ゴーストノートのコントロール。	テキスト内で提示された段階的ブラクティスを消化する (Step1~3)
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
準備学習 時間外学習			テキストではチャプター内で扱ったメインテーマの内容をより精度を高めるために、ステップ方式のブラクティスを載せている	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」				

科目名	Expression B(1) Key Harmonic Concept(1)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年						
授業の学習 内容	キーボード演奏テクニックと知識(ハーモニー、リズム、スケール、音色)、ジャンルの音楽言語学び、それらを音楽的に表現するための考え方、応用カスキルを身につけるための授業。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 各ジャンルの核を勉強するために必要な要点を理解し、実践できるようになる。 基礎知識、スケール、コードを理解し、演奏できるようになる。 ハーモニーアレンジの考え方、バックビートリズム、グルーブについて学び、研究し、実践(アンサンブル)に活かせるようになる。 これらの知識から、アドリブを取れるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	楽器の基礎知識、基礎トレ方法を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。
2	5月27日	講義・演習	メジャーダイアトニックコード、転回形コードワークについて	譜面、コードについて予習、復習をする。
3	6月3日	講義・演習	マイナーダイアトニックコード、転回形コードワークについて	譜面、コードについて予習、復習をする。
4	6月10日	講義・演習	曲①、8分バックビート、グルーブ、フレーズ	譜面、コードについて予習、復習をする。
5	6月17日	講義・演習	曲①応用	譜面、コードについて予習、復習をする。
6	6月24日	講義・演習	曲②Shuffle、グルーブ、テーマ	譜面、コードについて予習、復習をする。
7	7月1日	講義・演習	曲②インプロテクニック、アドリブ	譜面、コードについて予習、復習をする。
8	7月8日	講義・演習	曲③Swing、グルーブ、テーマ	譜面、コードについて予習、復習をする。
9	7月15日	講義・演習	Jazz Blues2 コードワーク、Organ Bass line	譜面、コードについて予習、復習をする。
10	7月22日	講義・演習	曲④16分バックビート、グルーブ、ハーモニー	譜面、コードについて予習、復習をする。
11	7月29日	講義・演習	曲④シンセ、Strings, Brass, Edit	譜面、コードについて予習、復習をする。
12	8月5日	講義・演習	曲④アドリブ、コードアレンジ考え方	譜面、コードについて予習、復習をする。
13	8月19日	講義・演習	演奏、筆記	まとめ、後期に向けて準備をする事(課題)。
14	8月26日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習。
15	9月2日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	Expression B(2) Vocal Reading(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	三浦伶美 城山恵利
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なレコーディング、イベント等に出演。						
授業の学習 内容	よりシンガーに特化したリズムトレーニング、メロディー歌唱、聴音を行う。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・正しいリズムとメロディーを理解し歌うことができる。 ・いくつかのスケールを歌うことができる。 ・簡単なリズムとメロディーを聴きとり譜面に起こす事が出来る。 ・簡単なコードの聴き分けが出来る。 ・アカペラでアンサンブルすることができる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。 レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
2	10月16日	講義・演習	今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。 レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
3	10月23日	講義・演習	今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。 レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
4	11月6日	講義・演習	今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。 レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
5	11月13日	講義・演習	今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。 レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
6	11月20日	講義・演習	今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。 レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
7	11月27日	講義・演習	今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。 レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
8	12月4日	講義・演習	今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。 レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
9	12月11日	講義・演習	今までのリズムが混ざった、細かいリズムを歌う。 レベルアップしたメロディーとリズム、コードの聴き取り。	ワークシートを用いて予習・復習
10	12月18日	講義・演習	後期テスト範囲発表。復習。アカペラアンサンブル練習。	ワークシートを用いて予習・復習
11	1月8日	講義・演習	アカペラアンサンブル練習。聴音。創作リズムなど。 メロディー進められるところまで。	ワークシートを用いて予習・復習
12	1月15日	講義・演習	アカペラアンサンブル練習。聴音。創作リズムなど。 メロディー進められるところまで。	ワークシートを用いて予習・復習
13	1月22日	講義・演習	アカペラアンサンブル練習。聴音。創作リズムなど。 メロディー進められるところまで。	ワークシートを用いて予習・復習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いて予習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Ear Training1 Workbook				

科目名	Expression B(2) Gt Harmonic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSM(前身のTCA含む)での実務歴25年。Harmonic Conceptの担当歴10年。						
授業の学習 内容	・多種多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代を生きる全ギタリストの必須スキルのひとつです。 ・本授業では、その土台を形成するための基本的な7thフォームの習得と、それを用いたエクササイズを並行させ、 実践的なコード・ワークを構築するためのスキルとノウハウを積み重ねていきます。						
到達目標	・各種7thコードの習得と様々なプレイ・アプローチ ・ギタリストの目線でコード・ポインティングを体系的に学ぶ ・コード・フォーム(ポインティング)を自分で組み立てられることを目指す						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	各種7thコードの仕組みを知る	各フォームを定着させるための予習と復習
2	10月12日	講義・演習	開放ポジションでの実践コード・ワーク	各フォームを定着させるための予習と復習
3	10月19日	講義・演習	押弦フォームの習得と実践(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
4	11月9日	講義・演習	押弦フォームの習得と実践(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
5	11月16日	講義・演習	押弦フォームの習得と実践(3)	各フォームを定着させるための予習と復習
6	11月23日	講義・演習	minor7th(b 5)への対応	各フォームを定着させるための予習と復習
7	11月30日	講義・演習	dim7thへの対応	各フォームを定着させるための予習と復習
8	12月7日	講義・演習	高音弦側で弾く4声フォームを学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
9	12月14日	講義・演習	3音構成のB.C.S.を学習する	各フォームを定着させるための予習と復習
10	12月21日	講義・演習	7thコードを含む課題曲での実践(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
11	1月18日	講義・演習	7thコードを含む課題曲での実践(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
12	1月25日	講義・演習	7thコードを含む課題曲での実践(3)	各フォームを定着させるための予習と復習
13	2月1日	講義・演習	試験週	後期で学んだ全コード・フォームの復習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			リズム感&タイム感の修練、グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.1教科書、補足教材適宜				

科目名	Expression B(2) Dr Groove Making(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ドラムテクニック系のクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している。						
授業の学習 内容	現代音楽におけるスタンダードグルーヴの抽出とアナライズをテーマとする演習を行う。 テキストに沿った各種トレーニングと並行して、アンサンブルスタンス、パルスイメージ、サウンドスケープ、リズムトレーニング等の内容も積み重ねていく多角的な演習内容になる。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上に於いて、タイム感の重要性を理解しグルーヴに対する「気付き」が生まれる事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	トリプレットフィールの習得。3連符を構成要素とするリズムの理解と実践。	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~3)
2	10月12日	講義・演習	バウンスフィールの実践(Rock,Funk,Jazz)	Chapter15やサブテキストからのサンプルを解析する
3	10月19日	講義・演習	ハネた16ビートの実践。 拍内のリズム構造の理解とバウンスフィールの考察。	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~4)
4	11月9日	講義・演習	ハネた16ビートの実践。 キックパターンのバリエーションによるフィールの構築	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~3)
5	11月16日	講義・演習	6連符に包括されたハネ系16ビートの実践。 ゴーストノートのコントロール。	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~4)
6	11月23日	講義・演習	ハネ方の度合いに関する考察。 バウンスポイントの把握とハネ率の実践。	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~2)
7	11月30日	講義・演習	チャートリーディングを伴う8ビートの実践。 課題曲(Chapter20)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(8ビート)
8	12月7日	講義・演習	チャートリーディングを伴う8ビートの実践。 課題曲(Chapter21)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(8ビート)
9	12月14日	講義・演習	チャートリーディングを伴う16ビートの実践。 課題曲(Chapter22)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(16ビート)
10	12月21日	講義・演習	チャートリーディングを伴う16ビートの実践。 課題曲(Chapter23)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(16ビート)
11	1月18日	講義・演習	チャートリーディングを伴う16ビートの実践。 課題曲(Chapter24)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(16ビート)
12	1月25日	講義・演習	シャッフルビートの実践。課題曲(Chapter25)の解析。	関連課題曲の抽出と研究(シャッフル)
13	2月1日	講義・演習	1年次のまとめ。蓄積したテクニックと表現力についての考察。	振り返りとしての総復習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
準備学習 時間外学習			キストではチャプター内で扱ったメインテーマの内容をより精度を高めるために、ステップ方式のプラクティスを載せてい	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」				

科目名	Expression B(2) Key Harmonic Concept(2)	必修 選択	選択必修	年次	1	担当教員 加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年					
授業の学習 内容	キーボード演奏テクニックと知識(ハーモニー、リズム、スケール、音色)、ジャンルの音楽言語学び、それらを音楽的に表現するための考え方、応用カスキルを身につけるための授業。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各ジャンルの核を勉強するために必要な要点を理解し、実践できるようになる。 ・基礎知識、スケール、コードを理解し、演奏できるようになる。 ・ハーモニーアレンジの考え方、バックビートリズム、グルーブについて学び、研究し、実践(アンサンブル)に活かせるようになる。 ・これらの知識から、アドリブを取れるようになる。 					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
2	10月14日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
3	10月21日	講義・演習	課題発表、アドバイス	譜面、コードについて予習、復習をする。
4	11月11日	講義・演習	曲① Soul ハーモニー、グルーブ	譜面、コードについて予習、復習をする。
5	11月18日	講義・演習	曲① 応用	譜面、コードについて予習、復習をする。
6	11月25日	講義・演習	曲②ハーモニー、オブリガード	譜面、コードについて予習、復習をする。
7	12月2日	講義・演習	曲②popsアレンジについて(パート)	譜面、コードについて予習、復習をする。
8	12月9日	講義・演習	シンセリードを使用したアプローチ	譜面、コードについて予習、復習をする。
9	12月16日	講義・演習	バンドについて	譜面、コードについて予習、復習をする。
10	1月6日	講義・演習	曲③クラブネットリフ、グルーブ	譜面、コードについて予習、復習をする。
11	1月13日	講義・演習	曲③アドリブ	譜面、コードについて予習、復習をする。
12	1月20日	講義・演習	曲③アレンジ	譜面、コードについて予習、復習をする。
13	1月27日	講義・演習	バラード ピアノイントロ、エンディング	譜面、コードについて予習、復習をする。
14	2月10日	講義・演習	編曲について	譜面、コードについて予習、復習をする。
15	2月17日	講義・演習	演奏、筆記	まとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	Acoustic Guitar Techniques(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中田 雅敏
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ギタリスト、サウンド・プロデューサーとして多くのアーティストのレコーディング、ツアーに参加。教則本、DVDを多数刊行。						
授業の学習 内容	アコースティックギターは、ギタリストに関わらず全てのミュージシャンにとって必須の楽器であり、演奏及び創作活動に無くてはならないものである。ギターの基礎を学ぶことにより、他の教科との連携がより強力なものになり得ると考えられる。この授業では、アコースティックギターの基礎を通して音楽家としての土台を築くものである。						
到達目標	ギターの基礎を学び、コードでの軽い伴奏ができるようになること。 コード楽譜などを見て、基本的なコードの演奏ができるようになること。 初歩的なコードを覚え、作曲などに役立てられるようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	ギター演奏に必要な初歩的な知識を身につける。 構え方、ピックの持ち方、チューニングの仕方など。	自身でチューニングが出来るようにしておく。
2	5月25日	講義・演習	コードの省略形で、簡単な伴奏ができるようになる。 ストロークの基本ができるようにする。	コードの基本形を覚える。
3	6月1日	講義・演習	コードの基本形で、簡単な伴奏ができるようになる。 ストロークのバリエーションの習得。	ストロークの基本形を覚える。
4	6月8日	講義・演習	フィンガーボードを把握し、 コードの形が理解できるようになる。	Eバレーコードの練習。
5	6月15日	講義・演習	Eバレーコードを理解し、 コードフォームの移動ができるようになる。	Aバレーコードの練習。
6	6月22日	講義・演習	Aバレーコードを理解し、 コードフォームの移動ができるようになる。	課題曲の練習。
7	6月29日	講義・演習	左手のテクニックの習得。 プリング、ハンマリングを覚える。	課題曲の練習。
8	7月6日	講義・演習	左手のテクニックの習得2。 ハーモニックス等できるようにする。	左手のテクニックの練習。
9	7月13日	講義・演習	ピックを使ったアルペジオを習得する。	課題曲の練習。
10	7月20日	講義・演習	フィンガーピッキングの基本を習得する。	アルペジオの練習。
11	7月27日	講義・演習	フィンガーピッキングによるアルペジオを習得する。	課題曲の練習。
12	8月3日	講義・演習	ストロークによる、フルコーラスの演奏を完成させる。	課題曲の練習。
13	8月17日	講義・演習	アルペジオによる、フルコーラスの演奏を完成させる。	課題曲の練習。
14	8月24日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ	リハーサルの消化と、自己解析
15	8月31日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ	リハーサルの消化と、自己解析
準備学習 時間外学習			授業の復習は必ず行い、次の週までにマスターしておくこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント資料を配布				

科目名	Acoustic Guitar Techniques(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	中田 雅敏
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ギタリスト、サウンド・プロデューサーとして多くのアーティストのレコーディング、ツアーに参加。教則本、DVDを多数刊行。						
授業の学習 内容	アコースティックギターは、ギタリストに関わらず全てのミュージシャンにとって必須の楽器であり、演奏及び創作活動に無くてはならないものである。 ギターの基礎を学ぶことにより、他の教科との連携がより強力なものになり得ると考えられる。 この授業では、アコースティックギターの基礎を通して音楽家としての土台を築くものである。						
到達目標	ギターの基礎を学び、コードでの軽い伴奏ができるようになること。 コード楽譜などを見て、基本的なコードの演奏ができるようになること。 初歩的なコードを覚え、作曲などに役立てられるようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オープンコードのバリエーション①	課題曲の練習。
2	10月12日	講義・演習	オープンコードのバリエーション②	課題曲の練習。
3	10月19日	講義・演習	オープンチューニングのバリエーション①	課題曲の練習。
4	11月9日	講義・演習	オープンチューニングのバリエーション②	課題曲の練習。
5	11月16日	講義・演習	カポタストの活用法	課題曲の練習。
6	11月23日	講義・演習	テンションコードのバリエーション① 9th	課題曲の練習。
7	11月30日	講義・演習	テンションコードのバリエーション② 11th	課題曲の練習。
8	12月7日	講義・演習	テンションコードのバリエーション① 13th	課題曲の練習。
9	12月14日	講義・演習	ソロギターの演奏法①	課題曲の練習。
10	12月21日	講義・演習	ソロギターの演奏法②	課題曲の練習。
11	1月18日	講義・演習	スライドギター①	課題曲の練習。
12	1月25日	講義・演習	スライドギター②	課題曲の練習。
13	2月1日	講義・演習	カントリースタイル	課題曲の練習。
14	2月8日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ	リハーサルの消化と、自己解析
15	2月15日	講義・演習	イベント実践を通してギターを学ぶ	リハーサルの消化と、自己解析
準備学習 時間外学習			授業の復習は必ず行い、次の週までにマスターしておくこと。	
【使用教科書・教材・参考書】				
プリント資料を配布				

科目名	Berkleeゼミ(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。 潤豊(vo)SOUL MATICSのメンバーとしてアーティストのバックコーラス、レコーディングに参加、ヴォイストレーナーも務めている。						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	5月29日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	6月12日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルよっての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月26日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	7月10日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	7月31日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	8月21日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	8月28日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	8月7日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	9月4日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月18日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Berkleeゼミ(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。潤豊(vo)SOUL MATICSのメンバーとしてアーティストのバックコーラス、レコーディングに参加。ヴォイストレーナーも務めている。						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
3	10月23日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
4	11月6日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	課題曲各パートアナライズ
5	11月13日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	前週の授業を踏まえ自己練習
6	11月20日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
7	11月27日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	前週の授業を踏まえ自己練習
8	12月4日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	課題曲各パートアナライズ
9	12月11日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	前週の授業を踏まえ自己練習
10	12月18日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
11	1月8日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	前週の授業を踏まえ自己練習
12	1月15日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
13	1月22日	講義・演習	課題曲13 総復習	前週の授業を踏まえ自己練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	DTM(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲哲也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。2003年からレコード会社avexの専属作曲家として様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、アーティストのプロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使つての打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYoutubeやネットに音源をアップできるようになる。						
到達目標	自分が作ったメロディーやコード進行をDAW(Logic)を使ってアレンジする事を目的とする。 YoutubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人で行える事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	ソフトシンセをインストゥルメントトラックにセットして音を出す事ができる。	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
2	5月28日	講義・演習	編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
3	6月4日	講義・演習	編集ウィンドウ、ミックスウィンドウ、トランスポートウィンドウの概要を学ぶ	ソフトシンセの音を出して自分が気に入った音色をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
4	6月11日	講義・演習	MIDIノートの入力方法と編集方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
5	6月18日	講義・演習	バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
6	6月25日	講義・演習	バーチャルインストゥルメントを使ってMIDIの録音方法を学ぶ	鼻歌で作ったオリジナルのメロディーをスマホに保存しておく
7	7月2日	講義・演習	MIDIクリップの取り扱い方を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
8	7月9日	講義・演習	MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
9	7月16日	講義・演習	MIDIデータのステップ入力方法を学ぶ	オリジナルのコード進行をLogicにプロジェクトファイルに保存しておく
10	7月30日	講義・演習	マルチインバーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
11	8月6日	講義・演習	マルチインバーのバーチャルインストゥルメントの取り扱いを学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
12	8月20日	講義・演習	EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ	オリジナルのリズムをLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
13	8月27日	講義・演習	EQ,Comp等の各種プラグインの使い方と効果を学ぶ	オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
14	9月3日	講義・演習	イベントを通じて音楽制作の技術を学ぶ	オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
15	9月10日	講義・演習	イベントを通じて音楽制作の技術を学ぶ	オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
準備学習 時間外学習			授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディーとコード進行を作ってストックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				

科目名	Arranging(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	湯汲哲也
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。2003年からレコード会社avexの専属作曲家として様々なアーティストに楽曲提供をしている。またテレビ番組やCMの作曲、アーティストのプロデュースなど幅広く活動している。						
授業の学習 内容	DAWを使っの打ち込み、レコーディング、ミキシング方法が主な内容で、音楽理論を交えながら編曲の手法を教えていく。自分の頭の中でイメージできているものを具体的な「音」にするためにソフトシンセやプラグインの操作方法を学び、目標とされるYoutubeやネットに音源をアップできるようになる。						
到達目標	自分が作ったメロディーやコード進行をDAW(Protools)を使ってアレンジする事を目的とする。 YoutubeやネットにアップできるようVoや楽器のレコーディング、ミックス、マスタリングの3工程を自分一人で行える事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	ソフトサンプラー「Structure Free」を学ぶ	Structure Freeを使ってオリジナルのリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
2	10月15日	講義・演習	ドラム専用バーチャルインストルメント「Boom」を学ぶ	Boomを使ってオリジナルのリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
3	11月5日	講義・演習	マルチインバー音源「Xpand!2」を学ぶ	Xpand!2の中にある気に入った音色をプロジェクトファイルに保存しておく
4	11月12日	講義・演習	セッションのテンポ、キー、拍子の設定方法を学ぶ	オリジナル曲のテンポ、キー、拍子を変えてみる
5	11月19日	講義・演習	クオンタイズでタイミングをずらす方法を学ぶ	色々なクオンタイズを試してグルーヴを理解しておく
6	11月26日	講義・演習	ベロシティとコントローラーイベントの編集方法を学ぶ	レーンを開いて全ての編集方法に触れておく
7	12月3日	講義・演習	オーディオレコーディングを学ぶ	オリジナルのメロディーをマイクで録音してプロジェクトファイルに保存しておく
8	12月10日	講義・演習	オーディオ波形の編集を学ぶ	オリジナルのメロディーをマイクで録音してプロジェクトファイルに保存しておく
9	12月17日	講義・演習	インサートエフェクトとSENDエフェクトの使い分け方を学ぶ	録音したオーディオファイルにエフェクトをかける
10	1月7日	講義・演習	インサートエフェクトとSENDエフェクトの使い分け方を学ぶ	録音したオーディオファイルにエフェクトをかける
11	1月14日	講義・演習	サイドチェインの使い方を学ぶ	サイドチェインを使ったオリジナルリズムを作ってプロジェクトファイルに保存しておく
12	1月21日	講義・演習	「編集グループ」と「ミックスグループ」の設定方法を学ぶ	フェーダーバランスだけでラフミックスしておく。
13	1月28日	講義・演習	オートメーションの書き込みモード「write」「touch」「latch」の3種類を学ぶ	オリジナル曲にオートメーションを使ってアレンジに変化をつけてみる
14	2月11日	講義・演習	イベントを通じて音楽制作の技術を学ぶ	オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
15	2月18日	講義・演習	イベントを通じて音楽制作の技術を学ぶ	オリジナルのアレンジ曲をLogicのプロジェクトファイルに保存しておく
準備学習 時間外学習			授業で習った音楽理論に沿って、たくさんメロディーとコード進行を作ってストックしておく。	
【使用教科書・教材・参考書】				
オリジナル				

科目名	Musician's IT(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	緒形 文
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ブライダルやイベントでの動画撮影・編集をしながらYouTuberの動画編集なども担当している。						
授業の学習 内容	音楽家のみならず社会人として必要なビジネスメールのマナーや音源・映像データの知識、iPad proまたはMac Bookを使用して自身の宣伝フライヤーの制作やパフォーマンス動画の編集のやり方を学びます。						
到達目標	アーティストとして音源やセット図等のデータをやり取りする事ができる。自信の宣伝フライヤーや映像資料を制作し、SNSに発信する事ができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	自己紹介 / これからのアーティストを考える	事前にiPad Pro、Macbookをセットアップしておく
2	5月25日	講義・演習	ビジネスメールの基礎 / 音源基礎	普段の生活からメールのマナーを意識しましょう
3	6月1日	講義・演習	セット図の書き方 / 宣伝フライヤー基礎	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
4	6月8日	講義・演習	宣伝フライヤーの作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
5	6月15日	講義・演習	GarageBandを使って楽曲制作	オリジナルの曲作りに励みましょう
6	6月22日	講義・演習	音源編集のやり方と楽曲の共有方法	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
7	6月29日	講義・演習	動画編集基礎	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
8	7月6日	講義・演習	動画編集実践 / 効果音・テロップ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
9	7月13日	講義・演習	YouTubeアカウント作成 / サムネイル制作	自分の演奏動画をアップしてみましょう
10	7月20日	講義・演習	画像の切り抜き / リサイズ	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
11	7月27日	講義・演習	オリジナル宣伝フライヤーの作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
12	8月3日	講義・演習	プレゼン資料の作成	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
13	8月17日	講義・演習	2年次にむけての講義	iPad Proを使用したコンテンツ作成や研究を行う。 授業で学んだ操作方法を復習する。
14	8月24日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
15	8月31日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Musician's IT(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	緒形 丈
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ブライダルやイベントでの動画撮影・編集をしながらYouTuberの動画編集なども担当している。						
授業の学習 内容	自分でコンテンツを作って投稿する事が当たり前となってきた今日、自分の強みとは何かを考えSNS・YouTubeアカウントに”統一感”を出していくブランディングを学びます。						
到達目標	携帯やiPad・カメラ機材を用いて自分でコンテンツ制作を行い、SNSの特徴などを分析して投稿することができる。自身の強みを理解しSNS・YouTubeアカウントをブランディングすることができる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
2	10月12日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
3	10月19日	講義・演習	自分の強み・ブランディングとは何か	コンテンツ研究を行う。
4	11月9日	講義・演習	様々な動画を見て分析	自分のSNSやYouTubeも分析してみましょう
5	11月16日	講義・演習	YouTube動画撮影・編集	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
6	11月23日	講義・演習	YouTube動画編集・書き出し	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
7	11月30日	講義・演習	動画撮影テクニック / トランジション	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
8	12月7日	講義・演習	動画撮影テクニック / グリーンバック	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
9	12月14日	講義・演習	トレーラー映像作成	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
10	12月21日	講義・演習	宣伝動画撮影・編集	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
11	1月18日	講義・演習	自分プレゼンテーション1 / 準備	プレゼン資料の作成・コンテンツの準備
12	1月25日	講義・演習	自分プレゼンテーション2 / 発表	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
13	2月1日	講義・演習	カメラの扱い方・動画編集ソフトについて	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
14	2月8日	講義・演習	1年間の振り返り動画を編集	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
15	2月15日	講義・演習	2年次に向けての講義	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	BasicKeyboard(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年						
授業の学習 内容	楽器の特徴を知り、指の基礎の動き、体の使い方、練習方法及びコードの基礎知識を学び、音楽的表現方法、視野を広げる。						
到達目標	前期の基礎を生かして演奏方法の応用力をつけ、簡単な伴奏による弾き歌いができるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	曲:① 譜面配布。演奏方法、前半 クリシェ進行、オンコードについて	鍵盤においてドレミファソラシドの位置を予習。
2	10月15日	講義・演習	曲:① 演奏方法、後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
3	11月5日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
4	11月12日	講義・演習	曲:② 譜面配布。演奏方法、前半 簡単なテンションコードについて。	譜面、コードについて予習、復習をする。
5	11月19日	講義・演習	曲:② 演奏方法、後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
6	11月26日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
7	12月3日	講義・演習	曲:③ 譜面配布 演奏方法、前半	譜面、コードについて予習、復習をする。
8	12月10日	講義・演習	曲:③ 譜面配布。後半	譜面、コードについて予習、復習をする。
9	12月17日	講義・演習	応用カデンツとコードワーク、メロディーをのせる(歌)	譜面、コードについて予習、復習をする。
10	1月7日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。
11	1月14日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。
12	1月21日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。
13	1月28日	講義・演習	簡単なコードワークと作曲	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
14	2月11日	講義・演習	イベントを通してキーボード技術を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
15	2月18日	講義・演習	イベントを通してキーボード技術を学ぶ	譜面、コードについて予習、復習をする。課題。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	Expression A(3) VT(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 潤豊 小林香央 里 田原佑一 朗
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATIC成员。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	5月25日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	6月1日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	6月8日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	6月15日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	6月22日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	6月29日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	7月6日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	7月13日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	7月20日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	7月27日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
12	8月3日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
13	8月17日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック、夏休みの課題チェック	基礎練習、課題図書を読み、レポート
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			発声練習及び課題曲練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(3) Gt Melodic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Brainsout、イガバンBBなどでの活動の他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。						
授業の学習 内容	メロディック・コンセプト1で習得した技術と知識をベースに、アプローチのバリエーションとトレーニングを行い、オリジナル・スタイルでのプレイを目指す。						
到達目標	ポピュラー、R&B、ジャズ、ロックなどでよく使われる一般的なコード進行でソロを弾けるようにする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	2 of us進行 ドリアン・アプローチの理解と実践	vii-v-i-bVII-bIII7進行でソロ練習
2	6月5日	講義・演習	B Bossa(1) マイナーii-V	i-iv-ii-v(key=Cm)進行でソロ練習
3	6月12日	講義・演習	B Bossa(2) キー・チェンジの練習	ii-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
4	6月19日	講義・演習	TeeUp(1) コンビニングとベースライン	II-V-I(key=D)進行でソロ練習
5	6月26日	講義・演習	TeeUp(2) ウォーキングベースとのコンビネーション	II-V-I(key=Bb)進行でソロ練習
6	7月3日	講義・演習	greater love(1) ペントニック・アプローチ	I-IV7-bVII-VI7-II7-V(key=Bb) 進行でソロ練習
7	7月10日	講義・演習	greater love(2) ディミニッシュ・アプローチ	ii-v-i(key=Gm)進行でソロ練習
8	7月31日	講義・演習	Stella(1) m7b5のアプローチ	ii-v-i(key=Dm)進行でソロ練習
9	8月21日	講義・演習	Stella(2) オルタードにフォーカスする	Valt-i(key=Cm)進行でソロ練習
10	8月28日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック	bIII-ii-v-i(key=Eb)進行でソロ練習
11	9月4日	講義・演習	another you(1) ハイブリッド・ペントニック2	II7-II-V-I(key=Eb)進行でソロ練習
12	9月11日	講義・演習	Dolphin ST(1) M3, m3切り替え	Imaj7-Im7(key=C)進行でソロ練習
13	9月18日	講義・演習	Dolphin ST(2) 7thコードの転回形のアプローチ	II7/I-bII/I(key=C)進行でソロ練習
14	9月25日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	前期で学んだ授業内容を振り返り、予習と復習を行う
15	10月2日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	前期で学んだ授業内容を振り返り、予習と復習を行う
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Expression A(3) Bass Line Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1、様々なグルーブのベースラインを分析し、演奏出来るようになること。 2、代理コードの概念を理解し、正しくフレージング出来るようになること。 3、様々なコード進行に対し、適正なアルペジオとスケールを設定出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	8ビートのリズムパターン、ドラムとのコンビネーションを意識したベースラインが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
2	5月29日	講義・演習	分析と移調の重要性を把握し、フレーズを様々なキーで演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
3	6月5日	講義・演習	アーティキュレーション、ニュアンスによる印象の変化を意識して演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
4	6月12日	講義・演習	16ビートのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
5	6月19日	講義・演習	セカンダリドミナントの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
6	6月26日	講義・演習	シャッフルのリズムパターンとそのヴァリエーションを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
7	7月3日	講義・演習	分数コードやクリシェの機能を理解し、適正なアルペジオとスケールが演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
8	7月10日	講義・演習	様々な拍子のベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
9	7月17日	講義・演習	拍子の細分化を理解し、奇数拍子のベースラインを演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
10	7月31日	講義・演習	サンバ/ボサノヴァのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
11	8月7日	講義・演習	レゲエのベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
12	8月21日	講義・演習	マンボなどのラテン系ベースラインを分析し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習
13	8月28日	講義・演習	前期のまとめと確認、評価。	チャプター内のエクササイズの復習
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				

科目名	Expression A(3) Key Play Tech(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋 剛
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1990年からミュージシャンの仕事をする。2004年からTSMにてシンセサイザー指導を行う。						
授業の学習 内容	1年次に学んだ内容を踏まえ、より実践的な奏法や音作りを学ぶ。課題曲を弾く中で、同時に理論の解説・実習を行う。						
到達目標	練習の場ではなく、レコーディングやライブ本番で使える技能を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	課題曲1を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
2	5月25日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
3	6月1日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
4	6月8日	講義・演習	課題曲1の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
5	6月15日	講義・演習	課題曲2を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
6	6月22日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
7	6月29日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
8	7月6日	講義・演習	課題曲2の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
9	7月13日	講義・演習	課題曲3を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
10	7月20日	講義・演習	課題曲3の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
11	7月27日	講義・演習	課題曲3の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
12	8月3日	講義・演習	前期課題曲を使つての実技試験。	前期内容の復習。
13	8月17日	講義・演習	前期まとめ。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
14	8月24日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
15	8月31日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression(4) VT(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	潤豊 小林香央里 田原佑一朗 國末慶宏 吉田華奈 担当教員
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICSメンバー。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。					
授業の学習 内容	ボイストレーニング、および、歌唱指導					
到達目標	ボイストレーニング、歌唱における基礎力の向上、基礎力の定着及び、アーティストとしての表現力の向上					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	短いカウンセリング(質疑応答)、目標の確認、発声チェック、歌唱チェック	発声練習及び課題曲練習
2	10月12日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
3	10月19日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
4	11月9日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
5	11月16日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
6	11月23日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
7	11月30日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
8	11月7日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
9	11月14日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
10	11月21日	講義・演習	外化、発声チェック、歌唱チェック(目標に合わせて深くアプローチ)	発声練習及び課題曲練習
11	1月18日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
12	1月25日	講義・演習	外化、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
13	2月1日	講義・演習	卒業に向けてカウンセリング(個人面談なども有)、発声チェック、発表会の曲チェック	発声練習及び課題曲練習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			発声練習及び課題曲練習	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression A(4) Gt Melodic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	廣瀬昌明
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	Brainsout、イガバンBBなどでの活動の他、アーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。						
授業の学習 内容	様々な曲のアナライズを行い、コードにあった音の選択を実践、ソロ・アプローチのバリエーションを増やす。						
到達目標	ポピュラー、R&B、ジャズ、ロックなどでよく使われる一般的なコード進行でソロを弾けるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	
3	10月23日	講義・演習	1n Samba(1) インナーボイスの半音進行	iii-bIII7-ii-bII7b5(key=Bb)進行でソロ練習
4	11月6日	講義・演習	1n Samba(2) チェンジの練習	ii-bIIb5-iii(key=Bb)進行でソロ練習
5	11月13日	講義・演習	7thコードでの切り替え :ミクソリディアンベース	I7-IV7(key=Bb)進行でソロ練習
6	11月20日	講義・演習	7thコードでの切り替え :ミクソリディアンベース	III7-V7-IV7(key=C)進行でソロ練習
7	11月27日	講義・演習	Spring Leaves(1) 1キーアプローチ	ii-V-I-IV(key=G)進行でソロ練習
8	12月4日	講義・演習	Spring Leaves(2) 各コードブロックのアプローチ	ii-bIII7-ii-bII7(key=C)進行でソロ練習
9	12月11日	講義・演習	No Chase(1) Jazz Bluesでの基本アプローチ	12小節ブルース進行(key=F)進行でソロ練習
10	12月18日	講義・演習	No Chase(2) ターンアラウンドのバリエーション	iii-VI7-ii-V(key=F)進行でソロ練習
11	1月8日	講義・演習	Wild Flow リディアン/ドリアンでのモードアプローチ	[3/4] Imaj7#11-bVIIm7(key=Bb)進行でソロ練習
12	1月15日	講義・演習	Sake and Horses(1) コンビネーションdimスケール	V7b5b9-V9-i(key=Gm)進行でソロ練習
13	1月22日	講義・演習	Sake and Horses(2) モーダル・インターチェンジ	I-bVII7(key=F)進行でソロ練習
14	1月29日	講義・演習	Small Steps(1) 連続するV-Iキーチェンジのアプローチ	V-I(key=G,Eb,B)進行でソロ練習
15	2月12日	講義・演習	Small Steps(2) 3度進行へのアプローチ	ii-V-I(key=Eb,G,B)進行でソロ練習
準備学習 時間外学習			授業内容を予習・復習し、実際にギターを弾きながらスケールへの理解を深める。(1日1時間程度)	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Expression A(4) Bass Line Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	河野充生
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ベースラインコンセプトの教科書の著者。ベーシストとして様々なアーティストをサポート。						
授業の学習 内容	様々な楽曲に対応し、的確で優れたベースラインを創造し演奏出来るように、多岐にわたるジャンルのベースラインを実習する。多様なコードやスケールとそれらを使用したフレージングについて実習する。						
到達目標	1、様々なグルーブのベースラインを分析し、演奏出来るようになること。 2、代理コードの概念を理解し、正しくフレージング出来るようになること。 3、様々なコード進行に対し、適正なアルペジオとスケールを設定出来るようになること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通してアンサンブルを学ぶ。	楽曲の予習・復習
3	11月6日	講義・演習	代理コードの構成音の類似性を理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
4	11月13日	講義・演習	裏コードとバッシングディミニッシュの機能を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
5	11月20日	講義・演習	モーダルインターチェンジその他の代理コードの機能を理解し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
6	11月27日	講義・演習	ウォーキングベースの手法とコンセプトを理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
7	12月4日	講義・演習	ウォーキングベースの様々なアプローチを習得し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
8	12月11日	講義・演習	ヴォイスリーディングの手法を理解し、実践できる。	チャプター内のエクササイズの復習。
9	12月18日	講義・演習	ワンコーラスのウォーキングベースラインを作成し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
10	1月8日	講義・演習	メロディーとそのリズム、モチーフの重要性について理解する。	チャプター内のエクササイズの復習。
11	1月15日	講義・演習	ワンコードのベースソロのフレージングを習得し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
12	1月22日	講義・演習	コードトーンやテンションを意識したフレージングを意識し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
13	1月29日	講義・演習	コード進行の分析とソロのコピーの手法を習得し、実践する。	チャプター内のエクササイズの復習。
14	2月12日	講義・演習	練習曲に対してベースラインとソロを作成し、演奏出来る。	チャプター内のエクササイズの復習。
15	2月19日	講義・演習	後期のまとめと確認、評価	チャプター内のエクササイズの復習。
準備学習 時間外学習			教科書を用いて読譜をし、授業準備を行う。日常的にベースを演奏し、授業内容の復習を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ベースラインコンセプト教科書				

科目名	Expression A(4) Key Play Tech(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	土屋 剛
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	1990年からミュージシャンの仕事をする。2004年からTSMにてシンセサイザー指導を行う。						
授業の学習 内容	教員が現場で使った資料等を使い、現場での対応・思考を指導する。						
到達目標	実際に仕事をする事ができる能力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
2	10月12日	講義・演習	イベント実践を通して現場での対応を学ぶ。	タイムテーブル、使用機材などの事前確認。
3	10月19日	講義・演習	課題曲4を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
4	11月9日	講義・演習	課題曲4の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
5	11月16日	講義・演習	課題曲4の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
6	11月23日	講義・演習	課題曲5を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
7	11月30日	講義・演習	課題曲5の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
8	12月7日	講義・演習	課題曲5の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
9	12月14日	講義・演習	課題曲6を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
10	12月21日	講義・演習	課題曲6の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
11	1月18日	講義・演習	課題曲6の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
12	1月25日	講義・演習	後期課題曲を使つての実技試験。	後期内容の復習。
13	2月1日	講義・演習	課題曲7を元に解説と練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
14	2月8日	講義・演習	課題曲7の練習。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
15	2月15日	講義・演習	後期まとめ。	筆記用具、iPad。必要に応じてヘッドホン等。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Expression B(3) Vocal Reading(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 三浦伶美 前川瑞稀
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なレコーディング、イベント等に出演。					
授業の学習 内容	よりシンガーに特化したリズムトレーニング、メロディー歌唱、聴音を行う。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・より高度なリズムとメロディーを理解し歌うことが出来る。 ・様々な種類のスケールを歌うことが出来る。 ・より高度なリズムとメロディーを聴きとり譜面に起こす事が出来る。 ・様々な種類のコードの聴き分けが出来る。 ・アカペラでアンサンブルすることが出来る。 					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	リズム→6/8拍子を学ぶ。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。アカペラアンサンブル練習。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	ワークシートを用いて予習・復習
2	5月27日	講義・演習	リズム→6/8拍子を学ぶ。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーF)。アカペラアンサンブル練習。	ワークシートを用いて予習・復習
3	6月3日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
4	6月10日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→細かいリズムのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーG)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
5	6月17日	講義・演習	リズム→スウィングのリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーB♭)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
6	6月24日	講義・演習	リズム→スウィングのリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度で歌唱(キーB♭)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
7	7月1日	講義・演習	リズム→6/8の細かいリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
8	7月8日	講義・演習	リズム→6/8の細かいリズムを学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
9	7月15日	講義・演習	リズム→2/2拍子を学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。スケール歌唱。移動度での歌唱(キーD)マイナーキーでの歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
10	7月22日	講義・演習	前期テスト範囲発表。復習など。	ワークシートを用いて予習・復習
11	7月29日	講義・演習	後期テスト	ワークシートを用いて予習・復習
12	8月5日	講義・演習	後期テスト予備日	ワークシートを用いて予習・復習
13	8月19日	講義・演習	リズム→2/2拍子を学ぶ。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→シンコペーションのメロディーを歌う。色々なキーの移動度で歌唱。マイナーキーでの歌唱。スケール歌唱。リズム・メロディー・コードの聴きとり。	ワークシートを用いて予習・復習
14	8月26日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月2日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いて予習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Ear Training1、2 Workbook				

科目名	Expression B(3) Gt Harmonic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSM(前身のTCA含む)での実務歴25年。Harmonic Conceptの担当歴10年。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代を生きる全ギタリストの必須スキルのひとつです。 ・本授業では、その土台を形成するためのテンション・コードの習得と、それを生かした実践的なエクササイズを並行させ、柔軟なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていきます。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コード理論とボイスイングの方法をより深く学び、和音のセンスを磨く ・ギタリストの目線で、テンションを含むコード・ボイスイングを体系的に学ぶ ・コード・フォーム(ボイスイング)を自身で組み立てられることを目指す 						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	add9フォームの考察と実践	各フォームを定着させるための予習と復習
2	5月25日	講義・演習	add9(sus2)フォームの考察と実践	各フォームを定着させるための予習と復習
3	6月1日	講義・演習	7th系テンション・コード学習: 9th(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
4	6月8日	講義・演習	同: 9th(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
5	6月15日	講義・演習	同: 13th(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
6	6月22日	講義・演習	同: 13th(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
7	6月29日	講義・演習	同: 6&9th(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
8	7月6日	講義・演習	同: 6&9th(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
9	7月13日	講義・演習	同: 11th(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
10	7月20日	講義・演習	同: 11th(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
11	7月27日	講義・演習	同: #11th(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
12	8月3日	講義・演習	同: #11th(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
13	8月17日	講義・演習	試験週	前期で学んだ全コード・フォームの復習
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			リズム感&タイム感の修練、グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.2教科書、補足教材適宜				

科目名	Expression B(3) Dr Groove Making(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ドラムテクニック系のクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している。						
授業の学習 内容	スタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容となる。幾つかの代表的なプレイスタイルを実践し、特化した技術、知識、フィーリングを学ぶ。ラテン音楽やジャズにも触れ総合的に音楽の理解を深めていく。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上において、様々な音楽ジャンルのエッセンスを昇華して主体的にグルーヴメイク出来る能力を身につける事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	ボサノバ・フィールの習得。ブラジリアンリズムと歴史的背景の理解と実践	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~2)
2	5月25日	講義・演習	ボサノバ特有のドラムアプローチの実践。4Wayコントロールを含むフィールの継続	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~2)
3	6月1日	講義・演習	チャートリーディングを伴うボサノバ・アプローチの実践(トライアル Chapter28)	マイナス音源を使用して主体的なフィールの決定を試みる
4	6月8日	講義・演習	レゲエ・フィールの習得。ジャマイカンリズムと歴史的背景の理解と実践	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~3)
5	6月15日	講義・演習	チャートリーディングを伴うレゲエ・アプローチの実践(トライアル Chapter30)	マイナス音源を使用して主体的なフィールの決定を試みる
6	6月22日	講義・演習	サンバ・フィールの習得。ブラジリアンリズムと歴史的背景の理解と実践	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~2)
7	6月29日	講義・演習	サンバ・アプローチ・バリエーションの実践(パターン、演奏フォーム、モチーフ等)	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~4)
8	7月6日	講義・演習	アフロ6/8フィールの習得。アフリカンリズムと歴史的背景の理解	パーカッション・アプローチも試みる
9	7月13日	講義・演習	6/8系ドラムアプローチの実践。フィールやバリエーションに関する考察	パーカッション・アプローチも試みる
10	7月20日	講義・演習	アフロ・キューバン・フィールの習得。リズム構造と歴史的背景の理解と実践	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~2)
11	7月27日	講義・演習	アフロ・キューバン・フィールの習得。パーカッション・アンサンブルの基礎理解	練習用リズムトラックを使用してフィールの継続を試みる
12	8月3日	講義・演習	アフロ・キューバン・リズムの種類と概要の把握	練習用リズムトラックを使用してフィールの継続を試みる
13	8月17日	講義・演習	前期のまとめ：ワールド・ビートを統括して解析	後期授業スタートまでの期間で興味の対象となるジャンルを研究する
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する	リハーサルの消化と自己解析
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する	リハーサルの消化と自己解析
準備学習 時間外学習			段階的なプラクティス以外に、マイナス音源や練習用リズムトラックを使用して、アンサンブルに近い形でのエクササイズを推奨する	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」				

科目名	Expression B(3) Key Harmonic Concept(3)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年						
授業の学習 内容	キーボード演奏テクニックと知識(ハーモニー、リズム、スケール、音色)、ジャンルの音楽言語学び、それらを音楽的に表現するための考え方、応用カスキルを身につけるための授業。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各ジャンルの核を勉強するために必要な要点を理解し、実践できるようになる。 ・基礎知識、スケール、コードを理解し、演奏できるようになる。 ・ハーモニーアレンジの考え方、バックビートリズム、グルーブについて学び、研究し、実践(アンサンブル)に活かせるようになる。 ・これらの知識から、アドリブを取れるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	曲①メロディー、スケール、ハーモニー分析、実演	曲、譜面について予習、復習をする。
2	5月29日	講義・演習	曲①アドリブ、アレンジ	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
3	6月5日	講義・演習	World musicについて、ポリリズム	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
4	6月12日	講義・演習	サルサ モントゥーノについて、リック	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
5	6月19日	講義・演習	ラテンpops、カリビアン	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
6	6月26日	講義・演習	アフロジャズ	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
7	7月3日	講義・演習	ボサノヴァ	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
8	7月10日	講義・演習	レゲエ	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
9	7月17日	講義・演習	スパニッシュメロディー、スケール、ハーモニー分析、実演	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
10	7月31日	講義・演習	スパニッシュメロディー、スケール、ハーモニー分析、実演後半	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
11	8月7日	講義・演習	メロディー、リディアンスケール、ハーモニー分析、実演	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
12	8月21日	講義・演習	メロディー、リディアンスケール、ハーモニー分析、実演後半	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
13	8月28日	講義・演習	演奏、筆記	予習、復習をする。課題。
14	9月4日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
15	9月11日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	Expression B(4) Vocal Reading(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員 前川瑞稀
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)	
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なレコーディング、イベント等に出演。					
授業の学習 内容	よりシンガーに特化したリズムトレーニング、メロディー歌唱、聴音を行う。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・より高度なリズムとメロディーを理解し歌うことができる。 ・様々な種類のスケールを歌うことができる。 ・より高度なリズムとメロディーを聴きとり譜面に起こす事が出来る。 ・様々な種類のコードの聴き分けができる。 ・アカペラでアンサンブルすることができる。 					
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱	ワークシートを用いて予習・復習
2	10月12日	講義・演習	リズム→表現記号を意識して細かいリズムを歌う。アカペラアンサンブルパート決めと練習メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱	ワークシートを用いて予習・復習
3	10月19日	講義・演習	リズム→3連符と2拍3連を歌う。アカペラアンサンブル練習。	ワークシートを用いて予習・復習
4	11月9日	講義・演習	メロディー歌唱→色々なキーの移動度で歌唱	ワークシートを用いて予習・復習
5	11月16日	講義・演習	リズム→12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
6	11月23日	講義・演習	リズム→12/8拍子のリズムを歌う。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
7	11月30日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
8	11月7日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
9	11月14日	講義・演習	リズム→復習。アカペラアンサンブル練習。メロディー歌唱→マイナーキーの移動度で歌唱。	ワークシートを用いて予習・復習
10	11月21日	講義・演習	後期テスト発表と今までの復習	ワークシートを用いて予習・復習
11	1月18日	講義・演習	リズム→創作リズムや、より難しいリズムに挑戦する。アカペラアンサンブルの練習。	ワークシートを用いて予習・復習
12	1月25日	講義・演習	リズム→創作リズムや、より難しいリズムに挑戦する。アカペラアンサンブルの練習。	ワークシートを用いて予習・復習
13	2月1日	講義・演習	リズム→創作リズムや、より難しいリズムに挑戦する。アカペラアンサンブルの練習。	ワークシートを用いて予習・復習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			ワークシートを用いて予習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
Ear Training1、2 Workbook				

科目名	Expression B(4) Gt Harmonic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	安東滋
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	TSM(前身のTCA含む)での実務歴25年。Harmonic Conceptの担当歴10年。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な音楽性に対応できる柔軟なコード・ワークの習得は、現代を生きる全ギタリストの必須スキルのひとつです。 ・本授業では、その土台を形成するためのテンション・コードの習得と、それを用いた実践的なエクササイズを並行させ、柔軟なコード・ワークを実践するためのスキルとノウハウを積み重ねていきます。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コード理論とボイスングの方法をより深く学び、和音のセンスを磨く ・ギタリストの目線で、テンションを含むコード・ボイスングを体系的に学ぶ ・コード・フォーム(ボイスング)を自身で組み立てられることを目指す 						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	オルタード・テンションを学ぶ(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
2	10月12日	講義・演習	オルタード・テンションを学ぶ(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
3	10月19日	講義・演習	Available Note ScaleとTensionの関連性	各フォームを定着させるための予習と復習
4	11月9日	講義・演習	コード進行を“読む”	各フォームを定着させるための予習と復習
5	11月16日	講義・演習	secondary dominantを学ぶ(1:長調)	各フォームを定着させるための予習と復習
6	11月23日	講義・演習	minor keyの考察と実践	各フォームを定着させるための予習と復習
7	11月30日	講義・演習	secondary dominantを学ぶ(2:短調)	各フォームを定着させるための予習と復習
8	12月7日	講義・演習	II m7-V7のボキャブラリーを開拓	各フォームを定着させるための予習と復習
9	12月14日	講義・演習	II m7(b 5)-V7のボキャブラリーを開拓	各フォームを定着させるための予習と復習
10	12月21日	講義・演習	モード系のコード・ワークを学ぶ(1)	各フォームを定着させるための予習と復習
11	1月18日	講義・演習	モード系のコード・ワークを学ぶ(2)	各フォームを定着させるための予習と復習
12	1月25日	講義・演習	ダブル・ストップの活用	各フォームを定着させるための予習と復習
13	2月1日	講義・演習	試験週	後期で学んだ全コード・フォームの復習
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して演奏技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			リズム感&タイム感の修練、グルーヴの習得、楽曲に対する実践プレイ・アプローチ	
【使用教科書・教材・参考書】				
H.C.2教科書、補足教材適宜				

科目名	Expression B(4) Dr Groove Making(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	奥出矢
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ドラムテクニック系のクラスを長く担当する。滋慶グループ全校統一テキストも作成している。						
授業の学習 内容	スタンダードグルーヴの抽出とアナライズが主な内容となる。幾つかの代表的なプレイスタイルを実践し、特化した技術、知識、フィーリングを学ぶ。ラテン音楽やジャズにも触れ総合的に音楽の理解を深めていく。						
到達目標	ワールドスタンダードなリズムフィールを習得する事を目的とし、各種トレーニングの消化や自発的研究活動の延長線上において、様々な音楽ジャンルのエッセンスを昇華して主体的にグルーヴメイク出来る能力を身につける事を目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。4ビートアプローチのための基礎理解	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~3)
2	10月12日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。4Wayコンビネーションのトレーニング	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~3)
3	10月19日	講義・演習	スウィング(4ビート)フィールの習得。手足の連動性が複雑化したアドバンスアプローチ	テキスト内で提示された段階的のプラクティスを消化する(Step1~3)
4	11月9日	講義・演習	スタイルアナライズ(モータウンの歴史的背景、代表曲からのグルーヴ抽出)	参考曲の研究 Chapter42&43
5	11月16日	講義・演習	スタイルアナライズ(スネア・スリッパが特徴的なファンクスタイルの実践)	参考曲の研究 Chapter44
6	11月23日	講義・演習	スタイルアナライズ(ニューオリンズ系の3:2型リズムモチーフを活かしたビートの実践)	参考曲の研究 Chapter45
7	11月30日	講義・演習	スタイルアナライズ(シンコペーション色が強いファンクスタイルの実践)	参考曲の研究 Chapter46
8	12月7日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(JB系のファンク)Chapter55	マイナスイン音源を使用してフィールを構築する
9	12月14日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(セカンドライン・フィールのロック)Chapter56	マイナスイン音源を使用してフィールを構築する
10	12月21日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(ストレート・フィールのファンク)Chapter57	マイナスイン音源を使用してフィールを構築する
11	1月18日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(パウンス・フィールのファンク)Chapter58	マイナスイン音源を使用してフィールを構築する
12	1月25日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(6/8フィールのファンク・ロック)Chapter59	マイナスイン音源を使用してフィールを構築する
13	2月1日	講義・演習	グルーヴメイク・トライアル(ラテン・フィールのファンク)Chapter60	マイナスイン音源を使用してフィールを構築する
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して蓄積されたテクニックやフィールを実践する。	リハーサルの消化と自己解析
準備学習 時間外学習			段階的なプラクティス以外に、マイナスイン音源や練習用リズムトラックを使用して、アンサンブルに近い形でのエクササイズを推奨する	
【使用教科書・教材・参考書】				
滋慶出版オリジナルテキスト「DRUM GROOVE MAKING」				

科目名	Expression B(4) Key Harmonic Concept(4)	必修 選択	選択必修	年次	2	担当教員	加藤エレナ
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	キーボーディストとして28年、指導歴19年						
授業の学習 内容	キーボード演奏テクニックと知識(ハーモニー、リズム、スケール、音色)、ジャンルの音楽言語学び、それらを音楽的に表現するための考え方、応用カスキルを身につけるための授業。						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・各ジャンルの核を勉強するために必要な要点を理解し、実践できるようになる。 ・基礎知識、スケール、コードを理解し、演奏できるようになる。 ・ハーモニーアレンジの考え方、バックビートリズム、グルーブについて学び、研究し、実践(アンサンブル)に活かせるようになる。 ・これらの知識から、アドリブを取れるようになる。 						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
2	10月16日	講義・演習	イベントの実践を通してステージ上での演奏技術を学ぶ	楽曲の予習・復習
3	11月6日	講義・演習	Blues リック、グルーブ、スタイル①	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
4	11月13日	講義・演習	Blues リック、グルーブ、スタイル②	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
5	11月20日	講義・演習	Blues リック、グルーブ、スタイル③	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
6	11月27日	講義・演習	New Orleans リック、グルーブ、スタイル①	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
7	12月4日	講義・演習	New Orleans リック、グルーブ、スタイル②	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
8	12月11日	講義・演習	リハモ、ボイスンク考察、応用	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
9	12月18日	講義・演習	Gospel リック、グルーブ、スタイル①	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
10	1月8日	講義・演習	Gospel リック、グルーブ、スタイル②	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
11	1月15日	講義・演習	Gospel リック、グルーブ、スタイル③	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
12	1月22日	講義・演習	スタイル応用①	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
13	1月29日	講義・演習	スタイル応用②	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
14	2月12日	講義・演習	スタイル応用③	曲、譜面コードについて予習、復習をする。
15	2月19日	講義・演習	演奏、筆記	まとめ
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
配布プリント				

科目名	Arranging(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナー・作曲家・アレンジャー。音楽雑誌への寄稿。						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記または実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	オリエンテーション Audio Sampleを使ったトラックメイク	ワークシート
2	5月30日	講義・演習	Pushを使ってMIDIレコーディング	ワークシート
3	6月6日	講義・演習	画面の基本説明及び各種アカウント作成 リズムトレーニング	ワークシート
4	6月13日	講義・演習	リズムパターンの打ち込み方法	ワークシート
5	6月20日	講義・演習	キーとスケールについて	ワークシート
6	6月27日	講義・演習	Pushを使ったベースラインの作り方	ワークシート
7	7月4日	講義・演習	Pushを使ったコード進行の作り方	ワークシート
8	7月11日	講義・演習	Pushを使ったメロディラインの作り方	ワークシート
9	7月18日	講義・演習	Audioのレコーディング方法	ワークシート
10	8月1日	講義・演習	曲の構成について	ワークシート
11	8月8日	講義・演習	サンプリングについて	ワークシート
12	8月22日	講義・演習	Simplerの使い方	ワークシート
13	8月29日	講義・演習	定期試験	ワークシート
14	9月5日	講義・演習	総復習1：前期の授業内容を復習し、楽曲制作の理解力を向上させる	ワークシート
15	9月12日	講義・演習	総復習2：前期の授業内容を復習し、楽曲制作の理解力を向上させる	ワークシート
準備学習 時間外学習			ワークシートを使用して事前に授業内容を把握し、Pushの使用方法を授業外でも練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	Arranging(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナー・作曲家・アレンジャー。音楽雑誌への寄稿。						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記または実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	フィールドレコーディングで素材集め	ワークシート
2	10月17日	講義・演習	Ableton Linkを使ったセッション	ワークシート
3	11月7日	講義・演習	Audio Effectについて その1	ワークシート
4	11月14日	講義・演習	Audio Effectについて その2	ワークシート
5	11月21日	講義・演習	MIDI Effectについて	ワークシート
6	11月28日	講義・演習	様々な楽曲アレンジ方法	ワークシート
7	12月5日	講義・演習	ミックスやマスタリング方法	ワークシート
8	12月12日	講義・演習	一人で楽曲制作	ワークシート
9	12月19日	講義・演習	一人で楽曲制作	ワークシート
10	1月9日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	ワークシート
11	1月16日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	ワークシート
12	1月23日	講義・演習	映像も加えた楽曲のアップロード	ワークシート
13	1月30日	講義・演習	定期試験	ワークシート
14	2月13日	講義・演習	総復習1：後期の授業内容を復習し、楽曲制作の理解力を向上させる	ワークシート
15	2月20日	講義・演習	総復習2：後期の授業内容を復習し、楽曲制作の理解力を向上させる	ワークシート
準備学習 時間外学習			ワークシートを使用して事前に授業内容を把握し、Pushの使用方法を授業外でも練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 廣瀬昌明 石戸谷齊 長谷川開
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	廣瀬昌明(GCBriansout, イカハンBBなどの活動)他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。石戸谷齊(16)学生時代からCMやTVなどのスタジオレコーディングを始め、オルケスタ・デ・ラ・ルスに加入、コンサートサポートも勤める。長谷川開(vo)SOULMATICのメンバーとして、数々のメジャーアーティストのツアーやレコーディングに参加。ボイストレー					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセッションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	2 of earth(1)	課題曲各パートの予習
2	5月28日	講義・演習	2 of earth(2)	課題曲各パートの予習
3	6月4日	講義・演習	Upper street life(1)	課題曲各パートの予習
4	6月11日	講義・演習	Upper street life(2)	課題曲各パートの予習
5	6月18日	講義・演習	Singing Queen(1)	課題曲各パートの予習
6	6月25日	講義・演習	Singing Queen(2)	課題曲各パートの予習
7	7月2日	講義・演習	Sleep All Day(1)	課題曲各パートの予習
8	7月9日	講義・演習	Sleep All Day(2)	課題曲各パートの予習
9	7月16日	講義・演習	Always Here(1)	課題曲各パートの予習
10	7月30日	講義・演習	Always Here(2)	課題曲各パートの予習
11	8月6日	講義・演習	Cha Gonna(1)	課題曲各パートの予習
12	8月20日	講義・演習	Cha Gonna(2)	課題曲各パートの予習
13	8月27日	講義・演習	前期からのピックアップ	課題曲各パートの予習
14	9月3日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 廣瀬昌明 石戸谷齊 長谷川開
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	廣瀬昌明(GCBriansout、イカパンBBなどの活動)の他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。石戸谷齊(16)学生時代からCMやTVなどのスタジオレコーディングを始め、オルケスタ・デ・ラ・ルスに加入、コンサートサポートも勤める。長谷川開(vo)SOULMATICのメンバーとして、数々のメジャーアーティストのツアーやレコーディングに参加。ボイストレー					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセッションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
2	10月15日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
3	11月5日	講義・演習	Goin' on(1)	課題曲各パートの予習
4	11月12日	講義・演習	Goin' on(2)	課題曲各パートの予習
5	11月19日	講義・演習	Crazy Lace(1)	課題曲各パートの予習
6	11月26日	講義・演習	Crazy Lace(2)	課題曲各パートの予習
7	12月3日	講義・演習	Still Friend(1)	課題曲各パートの予習
8	12月10日	講義・演習	オーディション	課題曲各パートの予習
9	12月17日	講義・演習	That X'mas(1)	課題曲各パートの予習
10	1月7日	講義・演習	That X'mas(2)	課題曲各パートの予習
11	1月14日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
12	1月21日	講義・演習	family(1)	課題曲各パートの予習
13	1月28日	講義・演習	family(2)	課題曲各パートの予習
14	2月11日	講義・演習	Can't Hide(1)	課題曲各パートの予習
15	2月18日	講義・演習	Can't Hide(2)	課題曲各パートの予習
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 廣瀬昌明 石戸谷齊 長谷川開
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	廣瀬昌明(GCBriansout、イカパンBBなどの活動)他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。石戸谷齊(16)学生時代からCMやTVなどのスタジオレコーディングを始め、オルケスタ・デ・ラ・ルスに加入、コンサートサポートも勤める。長谷川開(vo)SOULMATICのメンバーとして、数々のメジャーアーティストのツアーやレコーディングに参加。ボイストレー					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセッションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月21日	講義・演習	2 of earth(1)	課題曲各パートの予習
2	5月28日	講義・演習	2 of earth(2)	課題曲各パートの予習
3	6月4日	講義・演習	Upper street life(1)	課題曲各パートの予習
4	6月11日	講義・演習	Upper street life(2)	課題曲各パートの予習
5	6月18日	講義・演習	Singing Queen(1)	課題曲各パートの予習
6	6月25日	講義・演習	Singing Queen(2)	課題曲各パートの予習
7	7月2日	講義・演習	Sleep All Day(1)	課題曲各パートの予習
8	7月9日	講義・演習	Sleep All Day(2)	課題曲各パートの予習
9	7月16日	講義・演習	Always Here(1)	課題曲各パートの予習
10	7月30日	講義・演習	Always Here(2)	課題曲各パートの予習
11	8月6日	講義・演習	Cha Gonna(1)	課題曲各パートの予習
12	8月20日	講義・演習	Cha Gonna(2)	課題曲各パートの予習
13	8月27日	講義・演習	前期からのピックアップ	課題曲各パートの予習
14	9月3日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	9月10日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Neosoul&Funk Ensemble B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 廣瀬昌明 石戸谷齊 長谷川開
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	廣瀬昌明(GCBriansout, イカパンBBなどの活動)の他、数々のアーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。石戸谷齊(16)学生時代にBS-CMやTVなどのスタジオレコーディングを始め、オルケスタ・デ・ラ・ルスに加入、コンサートサポートも勤める。長谷川開(vo)SOULMATICのメンバーとして、数々のメジャーアーティストのツアーやレコーディングに参加。ボイストレー					
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ボーカル+ホーンセッションでのアンサンブル					
到達目標	R&B,Black Music,Funk,Hip Hop,Jazz Fusionなど、コンテンポラリー・ミュージックの基礎となり、グループを主体とする楽曲(歌あり)を中心に、アンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
2	10月15日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
3	11月5日	講義・演習	Goin' on(1)	課題曲各パートの予習
4	11月12日	講義・演習	Goin' on(2)	課題曲各パートの予習
5	11月19日	講義・演習	Crazy Lace(1)	課題曲各パートの予習
6	11月26日	講義・演習	Crazy Lace(2)	課題曲各パートの予習
7	12月3日	講義・演習	Still Friend(1)	課題曲各パートの予習
8	12月10日	講義・演習	オーデション	課題曲各パートの予習
9	12月17日	講義・演習	That X'mas(1)	課題曲各パートの予習
10	1月7日	講義・演習	That X'mas(2)	課題曲各パートの予習
11	1月14日	講義・演習	Still Friend(2)	課題曲各パートの予習
12	1月21日	講義・演習	family(1)	課題曲各パートの予習
13	1月28日	講義・演習	family(2)	課題曲各パートの予習
14	2月11日	講義・演習	Can't Hide(1)	課題曲各パートの予習
15	2月18日	講義・演習	Can't Hide(2)	課題曲各パートの予習
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Jazz Fusion Ensemble(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 能村亮平
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガパンBBなどでの活動の他、数々のアーティストのプロデューサー、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演。						
授業の学習 内容	Jazzスタンダード曲、Jazz Fusion曲のアンサンブル						
到達目標	バックিং、メロディ、ソロのアプローチを演奏できるようにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	Put It W-1	課題曲の予習
2	5月27日	講義・演習	Put It W-2	課題曲の予習
3	6月3日	講義・演習	So bad-1	課題曲の予習
4	6月10日	講義・演習	So bad-2	課題曲の予習
5	6月17日	講義・演習	Paneima-1	課題曲の予習
6	6月24日	講義・演習	Paneima-2	課題曲の予習
7	7月1日	講義・演習	Handprint-1	課題曲の予習
8	7月8日	講義・演習	Handprint-2	課題曲の予習
9	7月15日	講義・演習	Fried Chicken-1	課題曲の予習
10	7月22日	講義・演習	Fried Chicken-2	課題曲の予習
11	7月29日	講義・演習	Sudden S-1	課題曲の予習
12	8月5日	講義・演習	Sudden S-2	課題曲の予習
13	8月19日	講義・演習	前期課題の中から実演試験を行う。	課題曲の予習
14	8月26日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
15	9月2日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器, iPad, 筆記用具				

科目名	Jazz Fusion Ensemble(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	廣瀬昌明 能村亮平
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	Brainsout, イガパンBBなどでの活動の他、アーティストのプロデュース、ライブ、レコーディングなど。伊東たけし、寺井尚子、エリック・ミヤシロ、ポール・ジャクソンと共演						
授業の学習 内容	Jazzスタンダード曲、Jazz Fusion曲のアンサンブル						
到達目標	バックিং、メロディ、ソロのアプローチを演奏できるようにする						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	イベント実践を通して曲を学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
2	10月14日	講義・演習	イベント実践を通してアレンジを学ぶ	イベント課題曲を読譜・アナライズ
3	10月21日	講義・演習	R335-1	課題曲の予習
4	11月11日	講義・演習	R335-2	課題曲の予習
5	11月18日	講義・演習	Tom Lee-1	課題曲の予習
6	11月25日	講義・演習	Tom Lee-2	課題曲の予習
7	12月2日	講義・演習	We areオーディション	課題曲の予習
8	12月9日	講義・演習	C Island-1	課題曲の予習
9	12月16日	講義・演習	C Island-2	課題曲の予習
10	1月6日	講義・演習	JC of AM-1	課題曲の予習
11	1月13日	講義・演習	JC of AM-2	課題曲の予習
12	1月20日	講義・演習	Rainy-1	課題曲の予習
13	1月27日	講義・演習	Rainy-2	課題曲の予習
14	2月10日	講義・演習	Like Feel-2、認定テスト	課題曲の予習
15	2月17日	講義・演習	Like Feel-2、認定テスト	課題曲の予習
準備学習 時間外学習			準備学習として課題曲を聴き、譜面を読譜する。時間外学習として、各自アナライズする	
【使用教科書・教材・参考書】				
楽器、iPad、筆記用具				

科目名	Disco Band Ensemble A(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。 潤豊(vo)SOUL MATICSのメンバーとして様々なアーティストのバックコーラス・レコーディングに参加。ヴォイストレーナー						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
2	5月29日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
4	6月12日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	前週の授業を踏まえ自己練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	課題曲各パートアナライズ
6	6月26日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	7月10日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	前週の授業を踏まえ自己練習
9	7月31日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	課題曲各パートアナライズ
10	8月21日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
11	8月28日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	8月7日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
13	9月4日	講義・演習	課題曲13 総復習	課題曲各パートアナライズ
14	9月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月18日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Disco Band Ensemble A(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。 潤豊(vo)SOUL MATICSのメンバーとして様々なアーティストのバックコーラス・レコーディングに参加。ヴォイストレーナー						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
3	10月23日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
4	11月6日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	課題曲各パートアナライズ
5	11月13日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	前週の授業を踏まえ自己練習
6	11月20日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
7	11月27日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	前週の授業を踏まえ自己練習
8	12月4日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	課題曲各パートアナライズ
9	12月11日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	前週の授業を踏まえ自己練習
10	12月18日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
11	1月8日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	前週の授業を踏まえ自己練習
12	1月15日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
13	1月22日	講義・演習	課題曲13 総復習	前週の授業を踏まえ自己練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Disco Band Ensemble B(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。 潤豊(vo)SOUL MATICSのメンバーとして様々なアーティストのバックコーラス・レコーディングに参加。ヴォイストレーナー						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
2	5月29日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	課題曲各パートアナライズ
4	6月12日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	前週の授業を踏まえ自己練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	課題曲各パートアナライズ
6	6月26日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	7月10日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	前週の授業を踏まえ自己練習
9	7月31日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	課題曲各パートアナライズ
10	8月21日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
11	8月28日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	8月7日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	前週の授業を踏まえ自己練習
13	9月4日	講義・演習	課題曲13 総復習	課題曲各パートアナライズ
14	9月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月18日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Disco Band Ensemble B(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。 潤豊(vo)SOUL MATICSのメンバーとして様々なアーティストのバックコーラス・レコーディングに参加。ヴォイストレーナー						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
3	10月23日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
4	11月6日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	課題曲各パートアナライズ
5	11月13日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	前週の授業を踏まえ自己練習
6	11月20日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
7	11月27日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	前週の授業を踏まえ自己練習
8	12月4日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	課題曲各パートアナライズ
9	12月11日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	前週の授業を踏まえ自己練習
10	12月18日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
11	1月8日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	前週の授業を踏まえ自己練習
12	1月15日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
13	1月22日	講義・演習	課題曲13 総復習	前週の授業を踏まえ自己練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Session Work(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 加納 誠人 仲澤 友裕 長谷 龍之 介
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブサポート・レコーディング等の活動をしている					
授業の学習 内容	アンサンブルを通じてジャムセッションのやり方、楽しみ方を学ぶ。					
到達目標	セッションに対する苦手意識を無くす。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	7th FUNK一週目 セッションの基礎を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
2	5月29日	講義・演習	7th FUNK二週目 セッションの基礎を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
3	6月5日	講義・演習	最近のヒット曲の進行を使ってセッション一週目 セッションの基礎を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
4	6月12日	講義・演習	最近のヒット曲の進行を使ってセッション二週目 セッションの基礎を学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
5	6月19日	講義・演習	CCstrut 一週目 定番曲のレパトリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
6	6月26日	講義・演習	CCstrut 二週目 定番曲のレパトリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
7	7月3日	講義・演習	Just the 2 of us 一週目 定番曲のレパトリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
8	7月10日	講義・演習	Just the 2 of us 二週目 定番曲のレパトリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
9	7月17日	講義・演習	Isn't he lovely? 一週目 定番曲のレパトリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
10	7月31日	講義・演習	Isn't he lovely? 二週目 定番曲のレパトリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
11	8月7日	講義・演習	Feel like 一週目 定番曲のレパトリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
12	8月21日	講義・演習	Feel like 二週目 定番曲のレパトリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
13	8月28日	講義・演習	後期の復習・テスト	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
14	9月4日	講義・演習	イベント実践を通してセッションを学ぶ	楽曲の練習を最低3時間行う
15	9月11日	講義・演習	イベント実践を通してセッションを学ぶ	楽曲の練習を最低4時間行う
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Session Work(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 加納 誠人 仲澤 友裕 長谷 龍之 介
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)	
教員の略歴	ライブサポート・レコーディング等の活動をしている					
授業の学習 内容	アンサンブルを通じてジャムセッションのやり方、楽しみ方を学ぶ。					
到達目標	セッションに対する苦手意識を無くす。					
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	イベント実践を通してセッションを学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
2	10月16日	講義・演習	イベント実践を通してセッションを学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
3	11月6日	講義・演習	ブルース一週目 ストレートなビートのブルースに対するアプローチ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
4	11月13日	講義・演習	ブルース二週目 ストレートなビートのブルースに対するアプローチ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
5	11月20日	講義・演習	Long subway runnin' 一週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
6	11月27日	講義・演習	Long subway runnin' 二週目 定番曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
7	12月4日	講義・演習	モダンセッション 一週目 近年のセッションシーンで演奏される曲、スタイルを学ぶ。	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
8	12月11日	講義・演習	モダンセッション 二週目 近年のセッションシーンで演奏される曲、スタイルを学ぶ。	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
9	12月18日	講義・演習	Strasburg 一週目 モダンなセッション曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
10	1月8日	講義・演習	Strasburg 二週目 モダンなセッション曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
11	1月15日	講義・演習	SQD 一週目 モダンなセッション曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
12	1月22日	講義・演習	SQD 二週目 モダンなセッション曲のレパートリーを増やす	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
13	1月29日	講義・演習	フリーセッション 一週目 何も決めずにセッションを進めるノウハウを学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
14	2月12日	講義・演習	フリーセッション 二週目 何も決めずにセッションを進めるノウハウを学ぶ	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
15	2月19日	講義・演習	後期の復習・テスト	事前配布資料を確認して予習、準備しておく
準備学習 時間外学習			事前に配布される資料の予習を行う。授業で学んだことを復習し、次の授業に備える。1日1時間程度。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Percussion(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石川武
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	パーカッショニスト歴36年、昭和音楽大学非常勤講師、リズム教育研究所非常勤講師						
授業の学習 内容	コンテンポラリーパーカッションの演奏法基礎を、ドラム演奏とともに練習、実習する						
到達目標	ドラムのリズム種類に対応するパーカッション演奏について、主要楽器の基礎からリズム演奏までを習得する						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月20日	講義・演習	オリエンテーション パーカッション外観説明	パーカッション演奏に関する動画チェック
2	5月27日	講義・演習	ハンドパーカッションの基礎(コンガ1)	配布レジュメ確認
3	6月3日	講義・演習	ハンドパーカッションの基礎(コンガ2)	基礎練習復習
4	6月10日	講義・演習	ハンドパーカッションの基礎(コンガ3)	基礎練習復習
5	6月17日	講義・演習	リズム演奏(コンガ4)	パターン演奏を覚える
6	6月24日	講義・演習	リズム演奏(コンガ5)	パターン演奏を覚える
7	7月1日	講義・演習	リズム演奏(コンガ6)	パターン演奏を覚える
8	7月8日	講義・演習	リズム演奏(コンガ7)	パターン演奏を覚える
9	7月15日	講義・演習	ドラム+コンガ 演奏(1)8thnote feel	ドラムとのコンビネーションを覚える
10	7月22日	講義・演習	ドラム+コンガ 演奏(2)8thnote feel	音量音質を整える
11	7月29日	講義・演習	ドラム+コンガ 演奏(3)16thnote feel	ドラムとのコンビネーションを覚える
12	8月5日	講義・演習	ドラム+コンガ 演奏(4)16thnote feel	音量音質を整える
13	8月19日	講義・演習	ドラム+コンガ 演奏(5)まとめ	8th,16thnote feelを理解する
14	8月26日	講義・演習	イベントを通じてパーカッションを学ぶ	前期の授業で学んだことを復習する
15	9月2日	講義・演習	イベントを通じてパーカッションを学ぶ	前期の授業で学んだことを復習する
準備学習 時間外学習		授業で学んだことの復習やパターン、リズムを覚える予習を行う		
【使用教科書・教材・参考書】 レジュメを適時配布いたします				

科目名	Percussion(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	石川武
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	パーカッショニスト歴36年、昭和音楽大学非常勤講師、リズム教育研究所非常勤講師						
授業の学習 内容	コンテンポラリーパーカッションの演奏法基礎を、ドラム演奏とともに練習、実習する						
到達目標	ドラムのリズム種類に対応するパーカッション演奏について、主要楽器の基礎からリズム演奏までを習得する						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	前期復習(8th、16thのコンガ)	コンガの動画視聴イメージトレーニング
2	10月14日	講義・演習	小物楽器(1)シェイカー	楽器練習
3	10月21日	講義・演習	小物楽器(2)タンバリン	楽器練習
4	11月11日	講義・演習	小物楽器のリズム演奏(1)	楽器練習
5	11月18日	講義・演習	小物楽器のリズム演奏(2)	楽器練習
6	11月25日	講義・演習	楽器落ち替えのイメージ	譜面の中で考える
7	12月2日	講義・演習	8thnote fee 演奏(1)	持ち替え演奏の練習
8	12月9日	講義・演習	8thnote fee 演奏(2)	持ち替え演奏の練習
9	12月16日	講義・演習	16thnote feel演奏(1)	持ち替え演奏の練習
10	1月6日	講義・演習	16thnote feel演奏(2)	持ち替え演奏の練習
11	1月13日	講義・演習	総合演習	トータルな演奏イメージを持つ
12	1月20日	講義・演習	総合演習	トータルな演奏イメージを持つ
13	1月27日	講義・演習	コンテンポラリー演奏のまとめ	パーカッションというポジションを受け持つ
14	2月10日	講義・演習	イベントを通じてパーカッションを学ぶ	後期の授業で学んだことを復習する
15	2月17日	講義・演習	イベントを通じてパーカッションを学ぶ	後期の授業で学んだことを復習する
準備学習 時間外学習			授業で学んだことの復習やパターン、リズムを覚える予習を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				
レジュメを適時配布いたします				

科目名	Digital Compose(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナー・作曲家・アレンジャー。音楽雑誌への寄稿。						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記または実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月23日	講義・演習	オリエンテーション Audio Sampleを使ったトラックメイク	ワークシート
2	5月30日	講義・演習	Pushを使ってMIDIレコーディング	ワークシート
3	6月6日	講義・演習	画面の基本説明及び各種アカウント作成 リズムトレーニング	ワークシート
4	6月13日	講義・演習	リズムパターンの打ち込み方法	ワークシート
5	6月20日	講義・演習	キーとスケールについて	ワークシート
6	6月27日	講義・演習	Pushを使ったベースラインの作り方	ワークシート
7	7月4日	講義・演習	Pushを使ったコード進行の作り方	ワークシート
8	7月11日	講義・演習	Pushを使ったメロディラインの作り方	ワークシート
9	7月18日	講義・演習	Audioのレコーディング方法	ワークシート
10	8月1日	講義・演習	曲の構成について	ワークシート
11	8月8日	講義・演習	サンプリングについて	ワークシート
12	8月22日	講義・演習	Simplerの使い方	ワークシート
13	8月29日	講義・演習	定期試験	ワークシート
14	9月5日	講義・演習	総復習1：前期の授業内容を復習し、楽曲制作の理解力を向上させる	ワークシート
15	9月12日	講義・演習	総復習2：前期の授業内容を復習し、楽曲制作の理解力を向上させる	ワークシート
準備学習 時間外学習			ワークシートを使用して事前に授業内容を把握し、Pushの使用方法を授業外でも練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	Digital Compose(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	森谷諭
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 (4単位)		
教員の略歴	日本人初のAbleton認定トレーナー・作曲家・アレンジャー。音楽雑誌への寄稿。						
授業の学習 内容	海外でも通用するプロデューサーとしての力を身につけるため、海外で広く使用されているAbleton LiveおよびPushの操作方法を学び、作曲能力や楽曲のアレンジ力を養う。また、様々なレコーディング方法の習得を通して、柔軟なトラックメイク能力を養い、セルフプロデュース力を向上させる。						
到達目標	Ableton Live及びPushの基本的な操作ができる。 AudioとMIDIを駆使したトラックメイクができる。 インターネット上に自分の楽曲のアップロードができる。 楽曲アレンジの幅を広げる。						
評価方法と基準	筆記または実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月10日	講義・演習	フィールドレコーディングで素材集め	ワークシート
2	10月17日	講義・演習	Ableton Linkを使ったセッション	ワークシート
3	11月7日	講義・演習	Audio Effectについて その1	ワークシート
4	11月14日	講義・演習	Audio Effectについて その2	ワークシート
5	11月21日	講義・演習	MIDI Effectについて	ワークシート
6	11月28日	講義・演習	様々な楽曲アレンジ方法	ワークシート
7	12月5日	講義・演習	ミックスやマスタリング方法	ワークシート
8	12月12日	講義・演習	一人で楽曲制作	ワークシート
9	12月19日	講義・演習	一人で楽曲制作	ワークシート
10	1月9日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	ワークシート
11	1月16日	講義・演習	チームを組んで楽曲制作	ワークシート
12	1月23日	講義・演習	映像も加えた楽曲のアップロード	ワークシート
13	1月30日	講義・演習	定期試験	ワークシート
14	2月13日	講義・演習	総復習1：後期の授業内容を復習し、楽曲制作の理解力を向上させる	ワークシート
15	2月20日	講義・演習	総復習2：後期の授業内容を復習し、楽曲制作の理解力を向上させる	ワークシート
準備学習 時間外学習			ワークシートを使用して事前に授業内容を把握し、Pushの使用方法を授業外でも練習する	
【使用教科書・教材・参考書】				
常設機材				

科目名	RecTech(3) Gt Rec Tech(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	城石真臣
学科・コース	プロミュージシャン科	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	earthmindでメジャーデビューし、機動戦士ガンダムUC主題歌などを担当。乃木坂46、DISH//などのライブサポートやレコーディングを行う。						
授業の学習内容	デモ楽曲をモチーフにギター演奏を録音することによって、自身の演奏技術を冷静に判断し、現状で最適な演奏と今後必要になる技術や知識を習得する。 パソコンのDTMの操作も合わせて紹介し、ミニマムな環境でのギターメインの音楽制作を習得する。						
到達目標	ギターレコーディングの仕事で必要とされる演奏技術、ギターアレンジなどの対応力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	楽曲1 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
2	5月26日	講義・演習	楽曲1 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
3	6月2日	講義・演習	楽曲1 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
4	6月9日	講義・演習	楽曲1 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
5	6月16日	講義・演習	楽曲2 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
6	6月23日	講義・演習	楽曲2 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
7	6月30日	講義・演習	楽曲2 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
8	7月7日	講義・演習	楽曲3 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
9	7月14日	講義・演習	楽曲3 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
10	7月21日	講義・演習	楽曲3 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
11	7月28日	講義・演習	楽曲4 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
12	8月4日	講義・演習	楽曲4 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
13	8月18日	講義・演習	楽曲4 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
14	8月25日	講義・演習	ギターのレコーディング演習を行い、レコーディングとギター技術を学修する	楽曲の予習・復習
15	9月1日	講義・演習	ギターのレコーディング実習を行い、レコーディングとギター技術を学修する	楽曲の予習・復習
準備学習 時間外学習			配布資料の確認と読譜を事前に行い、演奏できるように時間外で練習する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	RecTech(4) Gt Rec Tech(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	城石真臣
学科・コース	プロミュージシャン科	授業形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	earthmindでメジャーデビューし、機動戦士ガンダムUC主題歌などを担当。乃木坂46、DISH//などのライブサポートやレコーディングを行う。						
授業の学習内容	デモ楽曲をモチーフにギター演奏を録音することによって、自身の演奏技術を冷静に判断し、現状で最適な演奏と今後必要になる技術や知識を習得する。 パソコンのDTMの操作も合わせて紹介し、ミニマムな環境でのギターメインの音楽制作を習得する。						
到達目標	ギターレコーディングの仕事で必要とされる演奏技術、ギターアレンジなどの対応力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	ギターのレコーディング演習を行い、レコーディングとギター技術を学修する	楽曲の予習・復習
2	10月13日	講義・演習	ギターのレコーディング実習を行い、レコーディングとギター技術を学修する	楽曲の予習・復習
3	10月20日	講義・演習	楽曲5 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
4	11月10日	講義・演習	楽曲5 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
5	11月17日	講義・演習	楽曲5 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
6	11月24日	講義・演習	楽曲5 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
7	12月1日	講義・演習	楽曲6 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
8	12月8日	講義・演習	楽曲6 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
9	12月15日	講義・演習	楽曲6 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
10	12月22日	講義・演習	楽曲7 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
11	1月12日	講義・演習	楽曲7 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
12	1月19日	講義・演習	楽曲7 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
13	1月26日	講義・演習	楽曲8 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
14	2月9日	講義・演習	楽曲8 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
15	2月16日	講義・演習	楽曲8 アナライズ、レコーディング	配布資料(音源、譜面)の確認
準備学習 時間外学習			配布資料の確認と読譜を事前に行い、演奏できるように時間外で練習する。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Berkleeゼミ(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。 潤豊(vo) SOUL MATICSのメンバーとしてアーティストのバックコーラス・レコーディングへ参加。ヴォイストレーナー						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月22日	講義・演習	課題曲1 ガイダンス、演習	課題曲各パートアナライズ
2	5月29日	講義・演習	課題曲1 適切な音量でアンサンブルできているか。	前週の授業を踏まえ自己練習
3	6月5日	講義・演習	課題曲2 お互いを聞き合い音楽を楽しむ	課題曲各パートアナライズ
4	6月12日	講義・演習	課題曲2 ヴォーカルよっての正しい音量バランス	前週の授業を踏まえ自己練習
5	6月19日	講義・演習	課題曲3 曲の構成を理解し、コミュニケーションをとる	課題曲各パートアナライズ
6	6月26日	講義・演習	課題曲3 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	前週の授業を踏まえ自己練習
7	7月3日	講義・演習	課題曲4 楽曲に適した表現ができているかどうか	課題曲各パートアナライズ
8	7月10日	講義・演習	課題曲4 暗譜、歌詞を暗譜して演奏できているか	前週の授業を踏まえ自己練習
9	7月31日	講義・演習	課題曲5 楽曲に適した振り付け、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
10	8月21日	講義・演習	課題曲5 Vo、楽器共にオーディエンスを意識した演奏	前週の授業を踏まえ自己練習
11	8月28日	講義・演習	課題曲6 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	課題曲各パートアナライズ
12	8月7日	講義・演習	課題曲6 夏季休暇にむけて個々の改善点を自己評価	前週の授業を踏まえ自己練習
13	9月4日	講義・演習	課題曲7 コンサートを意識したパフォーマンス	課題曲各パートアナライズ
14	9月11日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	9月18日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Berkleeゼミ(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤敬三 潤豊
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	遠藤敬三(Ba)数多くの幅広いジャンルのアーティストのツアー・レコーディングミュージシャンとして活躍。 潤豊(vo) SOUL MATICSのメンバーとしてアーティストのバックコーラス・レコーディングに参加。ヴォイストレーナー						
授業の学習 内容	4リズム(Dr,Bass,Guitar,Key)+ヴォーカルでのバンドアンサンブル						
到達目標	70～90年代Disco Songを中心にアンサンブル能力、セッション能力、パフォーマンス能力を高める。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	課題曲7 各パートのアレンジングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
2	10月16日	講義・演習	課題曲8 ジャンルによって歌唱表現、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
3	10月23日	講義・演習	課題曲8 楽曲によっての適したフレージングを学ぶ	前週の授業を踏まえ自己練習
4	11月6日	講義・演習	課題曲9 できるだけオリジナルを完全再現する	課題曲各パートアナライズ
5	11月13日	講義・演習	課題曲9 曲のテーマを理解しインプロビゼーション	前週の授業を踏まえ自己練習
6	11月20日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した歌唱スタイル、演奏スタイル	課題曲各パートアナライズ
7	11月27日	講義・演習	課題曲10 楽曲に適した表現ができているかどうか	前週の授業を踏まえ自己練習
8	12月4日	講義・演習	課題曲11 各演奏者によってよりよくするためのアンサンブル	課題曲各パートアナライズ
9	12月11日	講義・演習	課題曲11 演奏を通してコミュニケーションを取り合う	前週の授業を踏まえ自己練習
10	12月18日	講義・演習	課題曲12 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
11	1月8日	講義・演習	課題曲12 演奏中に正しいキューを出せるか、またついていけるか	前週の授業を踏まえ自己練習
12	1月15日	講義・演習	課題曲13 これまでの学びを通しより良いアンサンブルの実践	課題曲各パートアナライズ
13	1月22日	講義・演習	課題曲13 総復習	前週の授業を踏まえ自己練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月12日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			課題曲各パートアナライズ	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	Musician's IT(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	緒形 丈
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ブライダルやイベントでの動画撮影・編集をしながらYouTuberの動画編集なども担当している。						
授業の学習 内容	iMacを使い1年次よりもクオリティの高いコンテンツ制作技術を学ぶ。						
到達目標	Adobe Illustrator , Photoshop , Premiere proの使い方を理解し、自分でコンテンツ制作を行える。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月19日	講義・演習	管理フォルダの作成 / Adobe Illustratorの使い方	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
2	5月26日	講義・演習	YouTubeサムネイルの作り方	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
3	6月2日	講義・演習	Adobe Photoshopの使い方 / 切り抜き	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
4	6月9日	講義・演習	雑誌風プロフィールシート制作	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
5	6月16日	講義・演習	YouTubeヘッダー画像制作	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
6	6月23日	講義・演習	Adobe Premiere Proの使い方 / スライドショー	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
7	6月30日	講義・演習	Adobe Premiere Proの使い方 / テロップ入れ	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
8	7月7日	講義・演習	Adobe Premiere Proの使い方 / 書き出し	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
9	7月14日	講義・演習	グループワーク / 動画企画	各グループ毎に動画素材を撮影しましょう
10	7月21日	講義・演習	グループワーク / 編集	各グループ毎にプレゼンの準備を進めましょう
11	7月28日	講義・演習	グループプレゼン発表	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
12	8月4日	講義・演習	WIXを使いWEBサイト制作1	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
13	8月18日	講義・演習	WIXを使いWEBサイト制作2	iPad Pro, Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
14	8月25日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
15	9月1日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Musician's IT(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	緒形 丈
学科・コース	プロミュージシャン科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	ブライダルやイベントでの動画撮影・編集をしながらYouTuberの動画編集なども担当している。						
授業の学習 内容	様々なコンテンツ制作技術を学んできたが、より多くの人に自分の存在を知ってもらいながら、新しいファンを獲得するためにはどうすればいいかを考え、コンテンツ制作だけではなく生配信の活用方法を学びます。						
到達目標	YouTube Liveなどを通し、自身のコンテンツをリアルタイムで配信し集客にいかす事ができる。生配信だけでなく、音源制作に必要なDAWソフトの使い方や設定を理解できる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
2	10月13日	講義・演習	イベントを通してコンテンツ作成を行う	コンテンツ作成作業
3	10月20日	講義・演習	DAWとは？Pro Toolsの立ち上げ	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
4	11月10日	講義・演習	レコーディング基礎	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
5	11月17日	講義・演習	RECした音声と映像の同期	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
6	11月24日	講義・演習	マルチカム編集の基礎 / 映像の同期	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
7	12月1日	講義・演習	マルチカム編集の基礎 / スイッチング	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
8	12月8日	講義・演習	生配信基礎・モラル	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
9	12月15日	講義・演習	生配信実践	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
10	12月22日	講義・演習	ゲーム実況・配信	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
11	1月12日	講義・演習	アーカイブの編集1	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
12	1月19日	講義・演習	アーカイブの編集2	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
13	1月26日	講義・演習	2年間の動画編集1	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
14	2月9日	講義・演習	2年間の動画編集2	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
15	2月16日	講義・演習	卒業後に向けて / セルフプロデュースシート作成	iPad Pro、Macbookを使用したコンテンツ作成や研究を行う。
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				